

Ⅱ 調査の結果

《長野県森林づくり県民税(森林税)について》

＜森林税に関する認知度＞

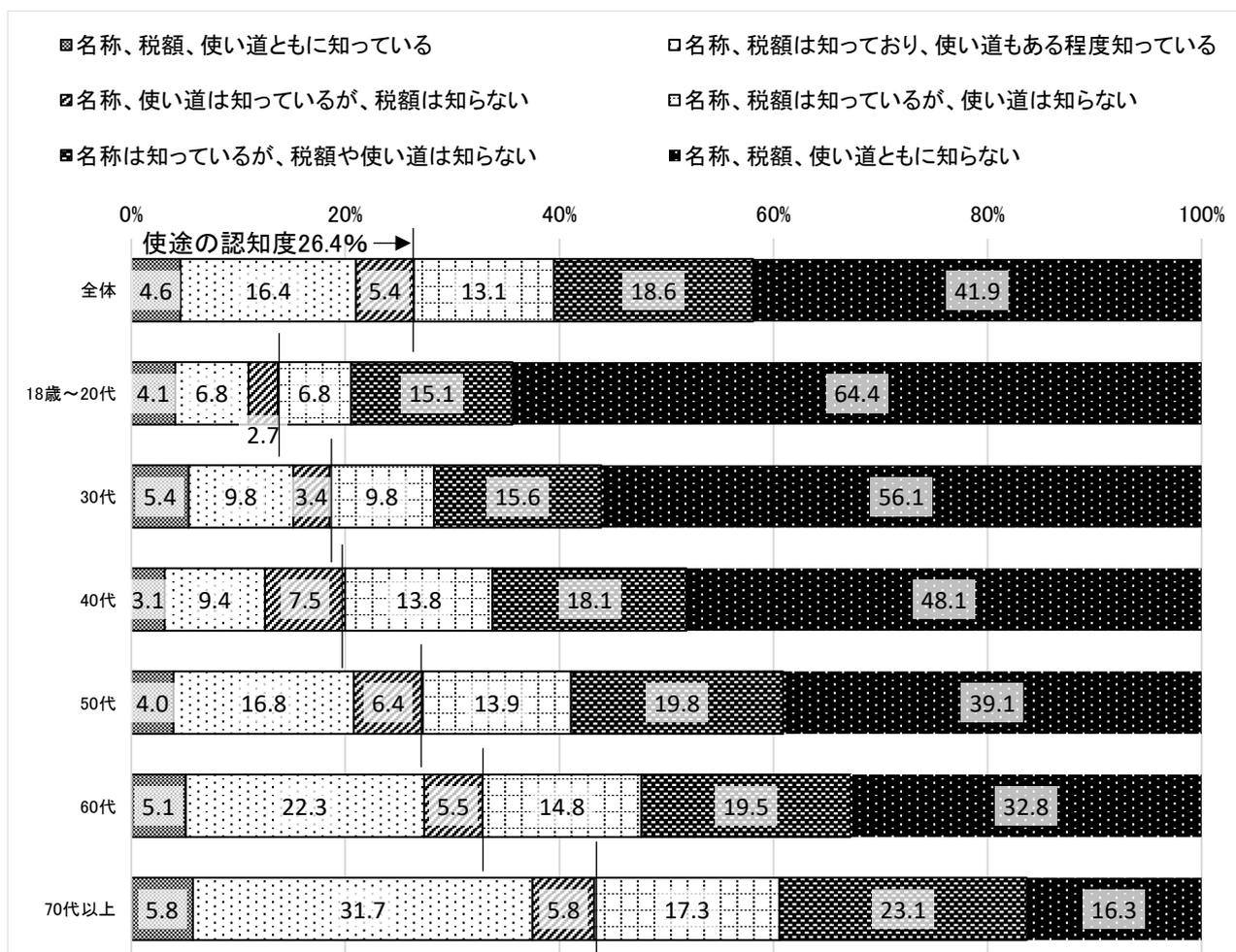
森林税を知っているのは全体の約6割、森林税の使い道も知っているのは3割弱

問1 森林税は、県民の皆様から年間500円をいただいて、里山の森林整備等に活用しています。あなたは、森林税の名称や税額、使い道についてご存知ですか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R5.9月調査 n=1,000	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
名称、税額、使い道ともに知っている	46	4.6	23	2.3
名称、税額は知っており、使い道もある程度知っている	164	16.4	103	10.3
※ 名称、使い道は知っているが、税額は知らない	54	5.4	-	-
※ 名称、税額は知っているが、使い道は知らない	131	13.1	157	15.7
名称は知っているが、税額や使い道は知らない	186	18.6	279	27.9
名称、税額、使い道ともに知らない	419	41.9	438	43.8

※分析の都合上、調査画面の選択肢の順番と逆に記載している。

- 「名称、税額、使い道ともに知っている」(4.6%)、「名称、税額は知っており、使い道もある程度知っている」(16.4%)、「名称、使い道は知っているが、税額は知らない」(5.4%)を合わせた「使途の認知度」は26.4%となっている。「使途の認知度」は年代別では70代以上(43.3%)が最も高く、18歳～20代(13.6%)が最も低い。
- 「名称、税額、使い道ともに知らない」が全体の41.9%と最も高い割合を占める。



<森林税の名称や税額、用途を認知した媒体>

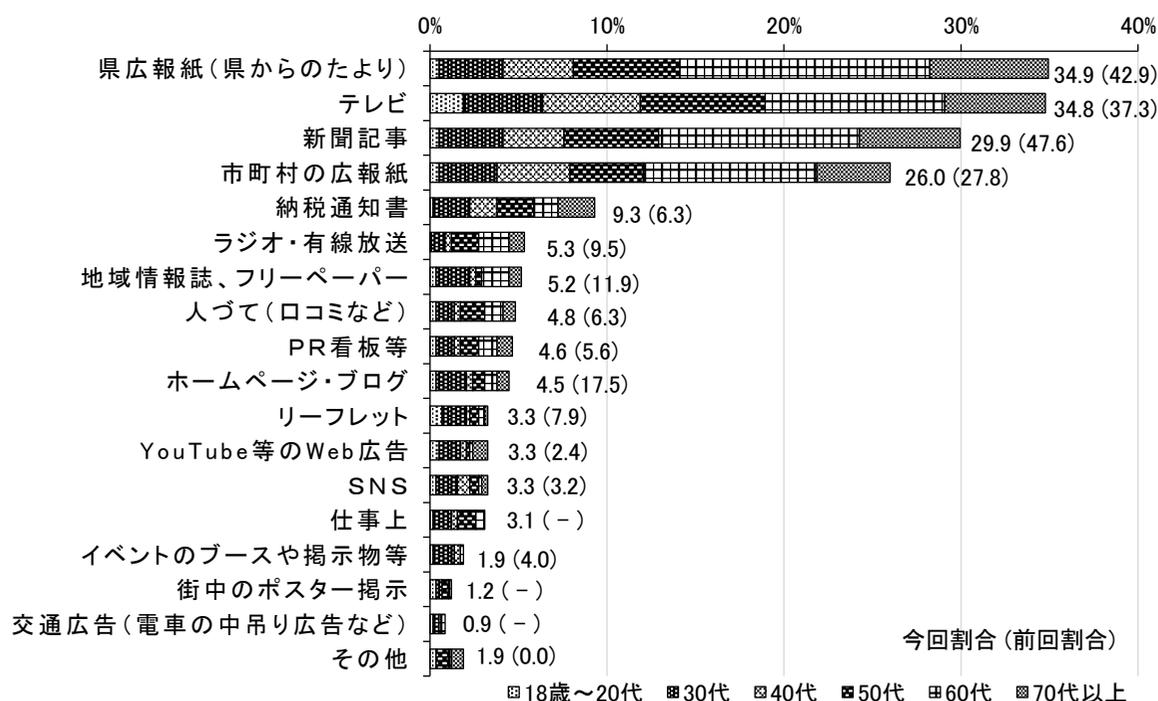
「県広報紙(県からのたより)」、「テレビ」が3割超、「新聞記事」が約3割

問2 問1で「名称、税額、使い道ともに知らない」以外を選ばれた方に伺います。これまで森林税について、見たり、聞いたりしたことがある媒体で、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=581		(参考)前回 R5.9月調査 n=126	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
県広報紙(県からのたより)	203	34.9	54	42.9
テレビ	202	34.8	47	37.3
新聞記事	174	29.9	60	47.6
市町村の広報紙	151	26.0	35	27.8
納税通知書	54	9.3	8	6.3
ラジオ・有線放送	31	5.3	12	9.5
地域情報誌、フリーペーパー	30	5.2	15	11.9
人づて(口コミなど)	28	4.8	8	6.3
森林税を活用して整備した森林に設置されたPR看板等	27	4.6	7	5.6
ホームページ・ブログ	26	4.5	※ 22	17.5
リーフレット	19	3.3	10	7.9
YouTube等のWeb広告	19	3.3	3	2.4
SNS(X(旧Twitter)、Instagram等)	19	3.3	4	3.2
仕事上	18	3.1	-	-
イベントのブースや掲示物等	11	1.9	5	4.0
街中のポスター掲示	7	1.2	-	-
交通広告(電車の中吊り広告など)	5	0.9	-	-
その他	11	1.9	0	0.0

※前回調査の選択肢は「県のホームページ・ブログ」

●「県広報紙(県からのたより)」が34.9%と最も多く、次に「テレビ」(34.8%)、「新聞記事」(29.9%)となっている。



その他としては、「覚えていない」、「学校の社会見学」等の回答があった。

＜森林税に関する情報入手の希望媒体＞

「テレビ」が4割超、「市町村の広報紙」が3割超、「県広報紙(県からのたより)」が約3割

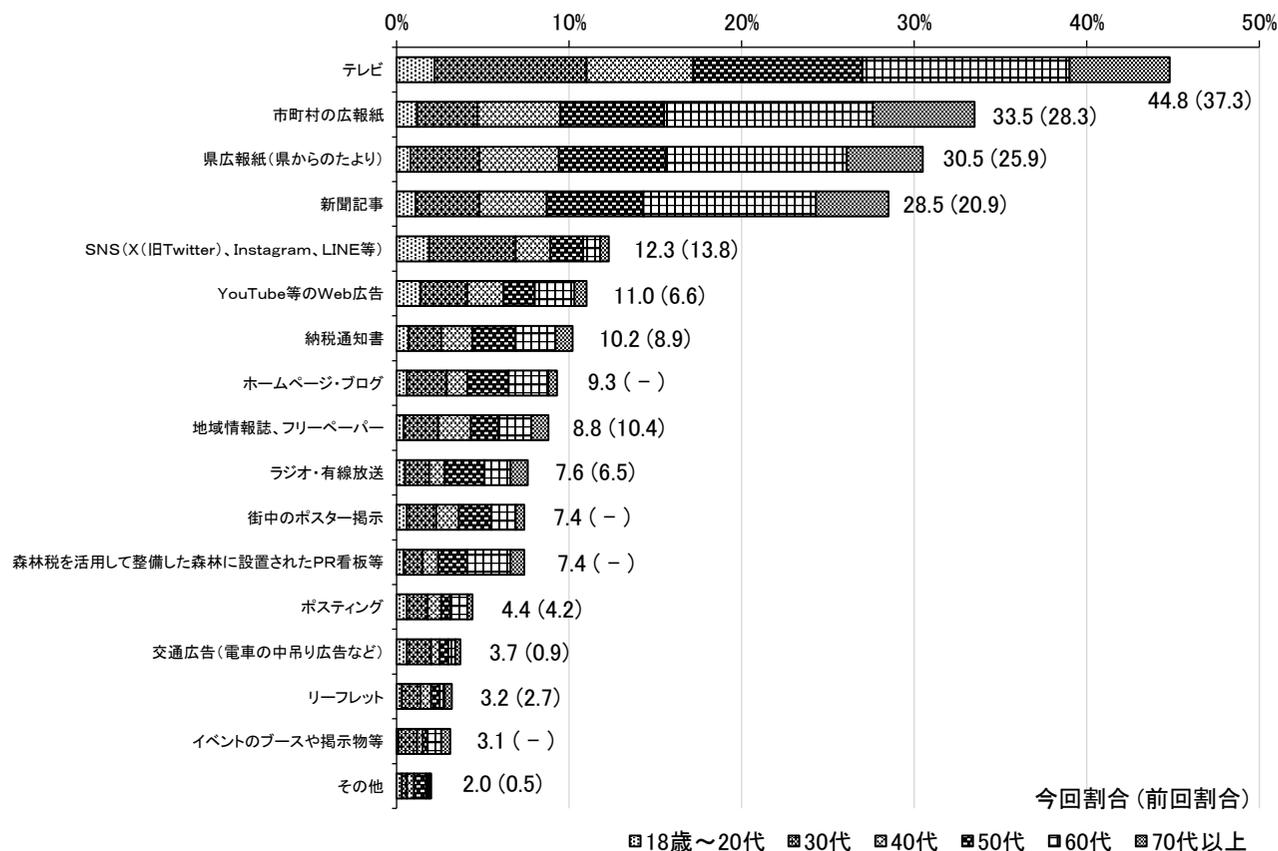
問3 今後、県が森林税に関して情報をお伝えする際、どのような媒体であると認知しやすいですか。当
てはまるものを選んでください。(4つまで)

※前回調査の設問文は「～どのような媒体を希望されますか。」

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R5.9月調査 n=874	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
テレビ	448	44.8	※ 326 130	37.3 14.9
市町村の広報紙	335	33.5	247	28.3
県広報紙(県からのたより)	305	30.5	226	25.9
新聞記事	285	28.5	183	20.9
SNS(X(旧Twitter)、Instagram、LINE等)	123	12.3	121	13.8
YouTube等のWeb広告	110	11.0	58	6.6
納税通知書	102	10.2	78	8.9
ホームページ・ブログ	93	9.3	-	-
地域情報誌、フリーペーパー	88	8.8	91	10.4
ラジオ・有線放送	76	7.6	57	6.5
街中のポスター掲示	74	7.4	-	-
森林税を活用して整備した森林に設置されたPR看板等	74	7.4	-	-
ポスティング	44	4.4	37	4.2
交通広告(電車の中吊り広告など)	37	3.7	8	0.9
リーフレット	32	3.2	24	2.7
イベントのブースや掲示物等	31	3.1	-	-
その他	20	2.0	4	0.5

※前回調査の選択肢は「テレビ(ニュース・番組)」(上段)、「テレビコマーシャル」(下段)

●「テレビ」が44.8%と最も多く、次に「市町村の広報紙」(33.5%)、「県広報紙(県からのたより)」(30.5%)となっている。



その他としては、「参加型イベント」、「自治体からのメール」等の回答があった。

＜森林税を活用した成果を感じる取組＞

「健全な森林をつくるための里山の間伐(木を抜き伐りすること)」が2割、「道路や電線沿いの危険木の除去」が2割弱、「河川沿いの支障木等の除去」が1割超

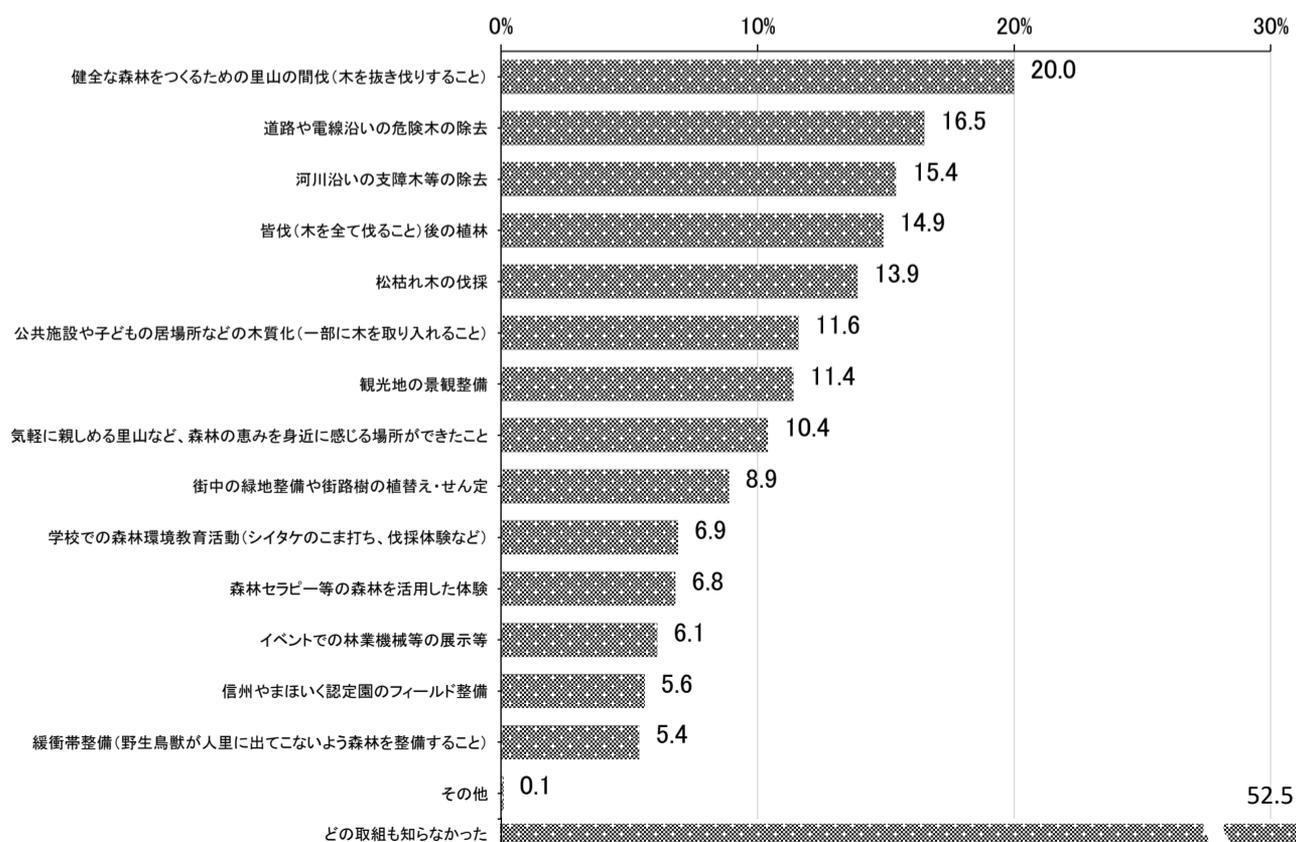
問4 日頃の生活の中で、以下の森林税を活用した取組の成果を感じたことはありますか。これまでに見たり、実感したりしたことがあるもので、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R5.9月調査 n=126	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
健全な森林をつくるための里山の間伐(木を抜き伐りすること)	200	20.0	29	23.0
道路や電線沿いの危険木の除去	165	16.5	45	35.7
河川沿いの支障木等の除去	154	15.4	30	23.8
皆伐(木を全て伐ること)後の植林	149	14.9	—	—
松枯れ木の伐採	139	13.9	—	—
公共施設や子どもの居場所などの木質化(一部に木を取り入れること)	116	11.6	※ 21 19	16.7 15.1
観光地の景観整備	114	11.4	27	21.4
気軽に親しめる里山など、森林の恵みを身近に感じる場所ができたこと	104	10.4	—	—
街中の緑地整備や街路樹の植替え・せん定	89	8.9	15	11.9
学校での森林環境教育活動(シイタケのこま打ち、伐採体験など)	69	6.9	—	—
森林セラピー等の森林を活用した体験	68	6.8	—	—
イベントでの林業機械等の展示等	61	6.1	—	—
信州やまほいく認定園のフィールド整備	56	5.6	—	—
緩衝帯整備(野生鳥獣が人里に出てこないよう森林を整備すること)	54	5.4	—	—
その他	1	0.1	0	0.0
どの取組も知らなかった	525	52.5	40	31.7

※前回調査の選択肢は「利用する民間・県有施設が木質化された」(上段)、「保育園等のこどもの居場所が木質化された(木製の調度品やおもちゃが導入された)」(下段)

●成果を感じる取組の中では、「健全な森林をつくるための里山の間伐(木を抜き伐りすること)」が20.0%と最も多く、次いで「道路や電線沿いの危険木の除去」が16.5%、「河川沿いの支障木等の除去」が15.4%となっている。

●「どの取組も知らなかった」が52.5%となっている。



＜森林税を活用して取り組む内容として大切だと思うもの＞
 健全な森林をつくるための里山の間伐(木を抜き伐りすること)が5割弱、「皆伐(木を全て伐ること)後の植林」が3割超、「道路や電線沿いの危険木の除去」が約3割

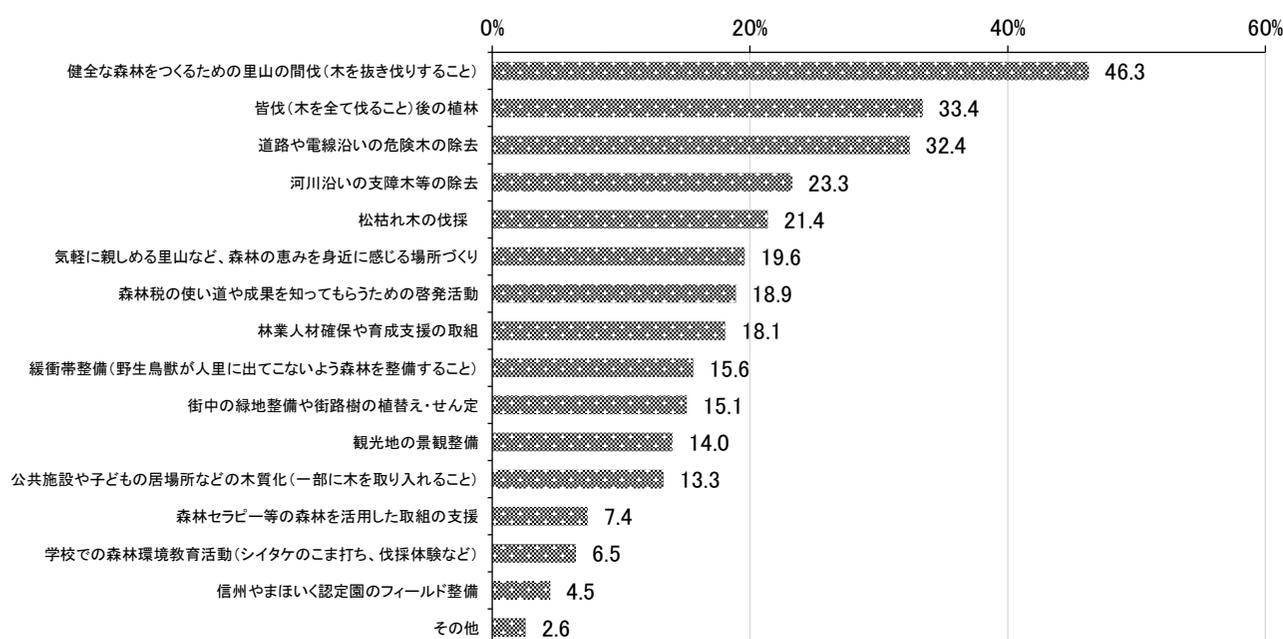
問5 森林税で取り組むべき内容について、あなたが特に大切だと思う取組として、当てはまるものを選んでください。(4つまで)

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R5.9月調査 n=1,000	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
健全な森林をつくるための里山の間伐(木を抜き伐りすること) ※前回調査の選択肢は「防災・減災のための里山整備」	463	46.3	484	48.4
皆伐(木を全て伐ること)後の植林 ※前回調査の選択肢は「再造林の加速化(若い森林への更新)」	334	33.4	229	22.9
道路や電線沿いの危険木の除去	324	32.4	230	23.0
河川沿いの支障木等の除去	233	23.3	161	16.1
松枯れ木の伐採 ※前回調査の選択肢は「病害虫被害対策」	214	21.4	190	19.0
気軽に親しめる里山など、森林の恵みを身近に感じる場所づくり	196	19.6	163	16.3
森林税の使い道や成果を知ってもらうための啓発活動	189	18.9	33	3.3
林業人材確保や育成支援の取組	181	18.1	257	25.7
緩衝帯整備(野生鳥獣が人里に出てこないよう森林を整備すること)	156	15.6	①	
街中の緑地整備や街路樹の植替え・せん定	151	15.1	173	17.3
観光地の景観整備	140	14.0	①	
公共施設や子どもの居場所などの木質化(一部に木を取り入れること)	133	13.3	84	8.4
森林セラピー等の森林を活用した取組の支援	74	7.4	138	13.8
学校での森林環境教育活動(シイタケのこま打ち、伐採体験など)	65	6.5	②	
信州やまほいく認定園のフィールド整備	45	4.5		
その他	26	2.6	—	—

①: 前回調査の選択肢は「観光地の景観や緩衝帯(森林の見通しを良くすることで野生鳥獣の出没を抑制するエリア)の整備」で102人(10.2%)

②: 前回調査の選択肢は「学校林や やまほいくのフィールド整備」で81人(8.1%)

● 「健全な森林をつくるための里山の間伐(木を抜き伐りすること)」が46.3%と最も多く、次に「皆伐(木を全て伐ること)後の植林」が33.4%、「道路や電線沿いの危険木の除去」が32.4%となっている。



《人権に関する意識について》

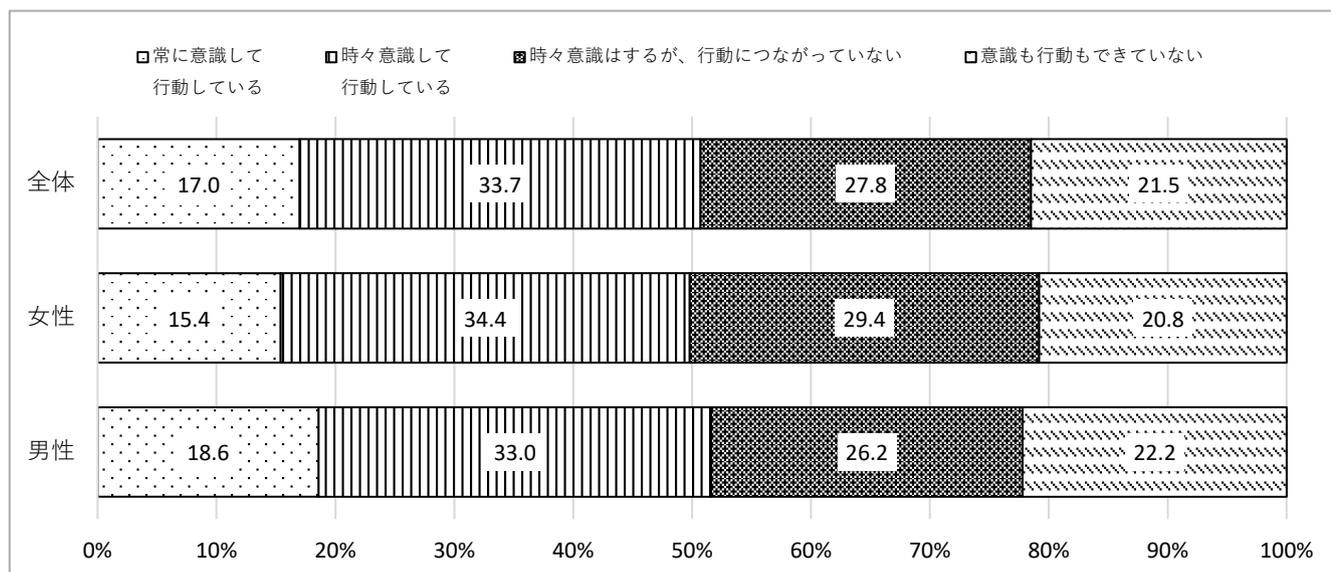
＜人権を尊重する意識の状況＞

「常に意識して行動している」と「時々意識して行動している」が合わせて約5割

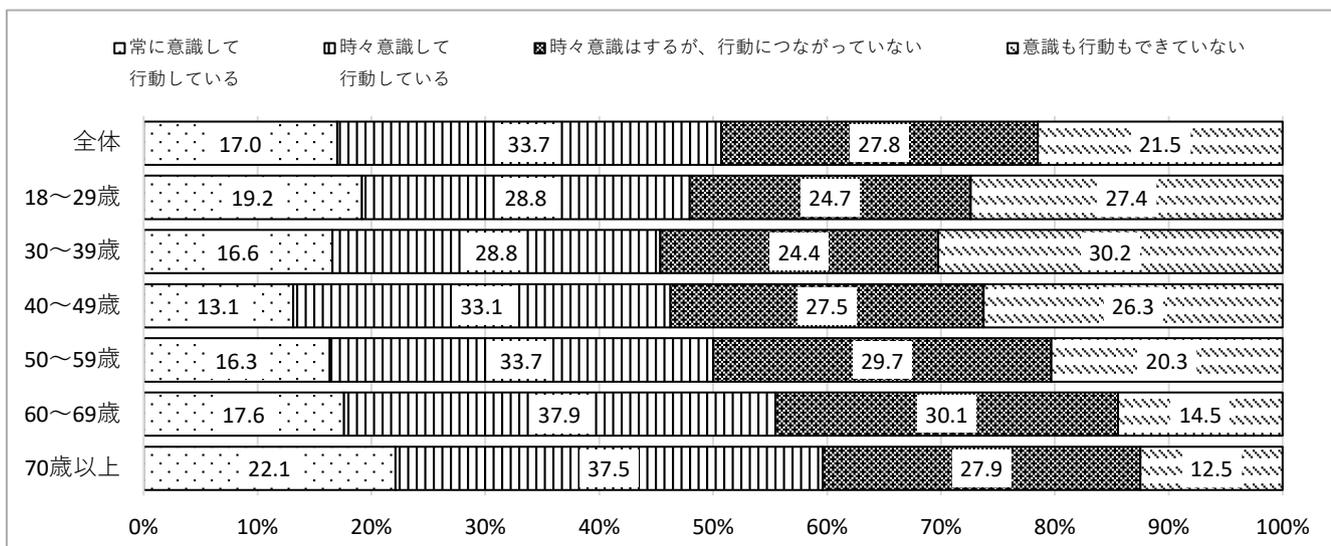
問6 あなたは、他者の人権を尊重することについて、普段から意識して行動していますか。
当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1,000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
常に意識して行動している	170	17.0	198	19.8
時々意識して行動している	337	33.7	338	33.8
時々意識はするが、行動につなげていない	278	27.8	262	26.2
意識も行動もできていない	215	21.5	202	20.2

- 「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合は50.7%となっている。
- 男女別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」に大きな差は見られない。



- 年代別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合が最も高いのは70歳以上(59.6%)、「時々意識はするが、行動につなげていない」、「意識も行動もできていない」を合わせた割合が最も高いのは30～39歳(54.6%)となっている。



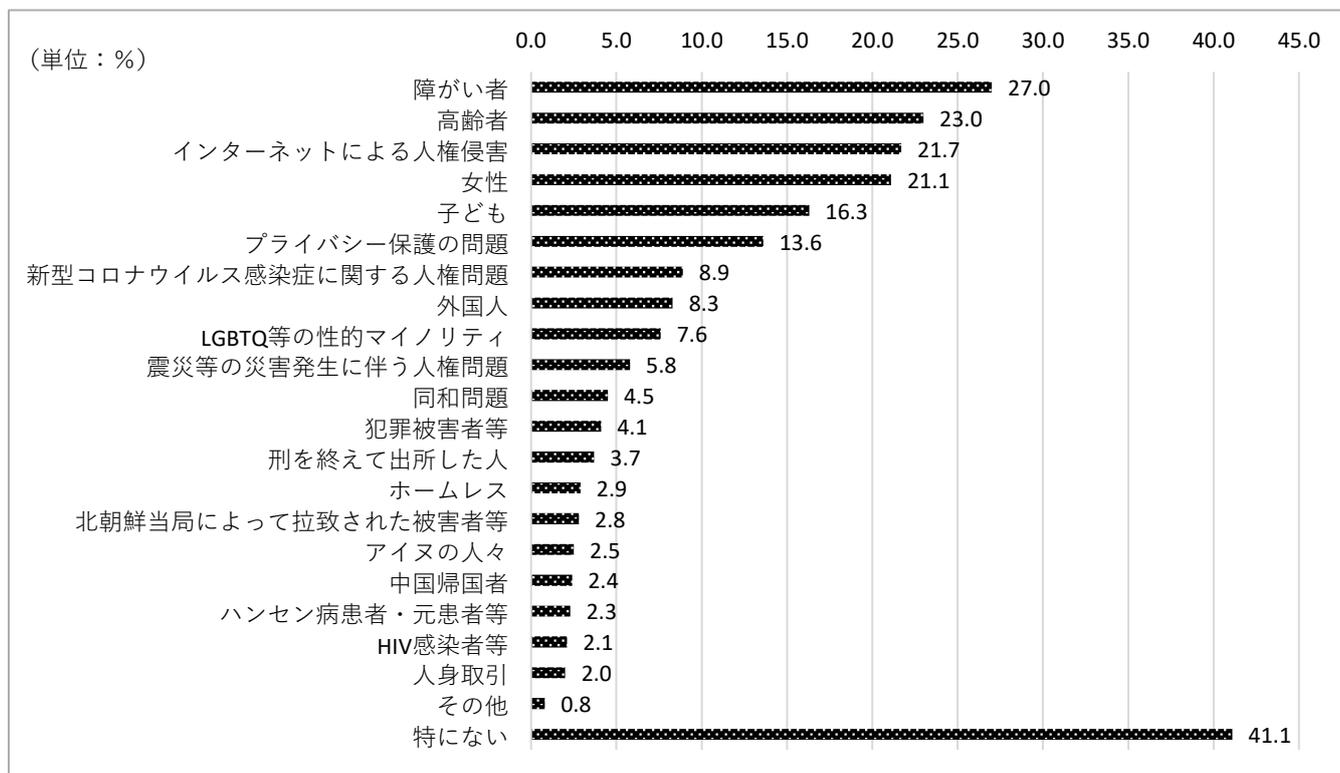
＜身近で起きている人権問題＞

「障がい者に関すること」が3割弱、「高齢者に関すること」が2割超

問7 あなたの身の回りで起きている身近な人権問題は何ですか。
当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1,000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
障がい者に関すること	270	27.0	326	32.6
高齢者に関すること	230	23.0	288	28.8
インターネットによる人権侵害に関すること	217	21.7	197	19.7
女性に関すること	211	21.1	274	27.4
子どもに関すること	163	16.3	244	24.4
プライバシー保護の問題に関すること	136	13.6	156	15.6
新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(不当な取扱いやひぼう中傷)に関すること	89	8.9	121	12.1
外国人に関すること	83	8.3	106	10.6
LGBTQ等の性的マイノリティに関すること	76	7.6	96	9.6
震災等の災害発生に伴う人権問題に関すること	58	5.8	74	7.4
同和問題に関すること	45	4.5	55	5.5
犯罪被害者等に関すること	41	4.1	40	4.0
刑を終えて出所した人に関すること	37	3.7	35	3.5
ホームレスに関すること	29	2.9	29	2.9
北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関すること	28	2.8	27	2.7
アイヌの人々に関すること	25	2.5	19	1.9
中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)に関すること	24	2.4	20	2.0
ハンセン病患者・元患者等に関すること	23	2.3	12	1.2
HIV感染者等に関すること	21	2.1	26	2.6
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)に関すること	20	2.0	24	2.4
その他	8	0.8	10	1.0
特になし	411	41.1	334	33.4

●「障がい者に関すること」が27.0%と最も高く、次に「高齢者に関すること」(23.0%)、「インターネットによる人権侵害に関すること」(21.7%)と続いている。



「その他」としては、「近隣住民による悪いうわさ話」、「隣人トラブルによるひぼう中傷」等の回答があった。

《子どもの権利について》

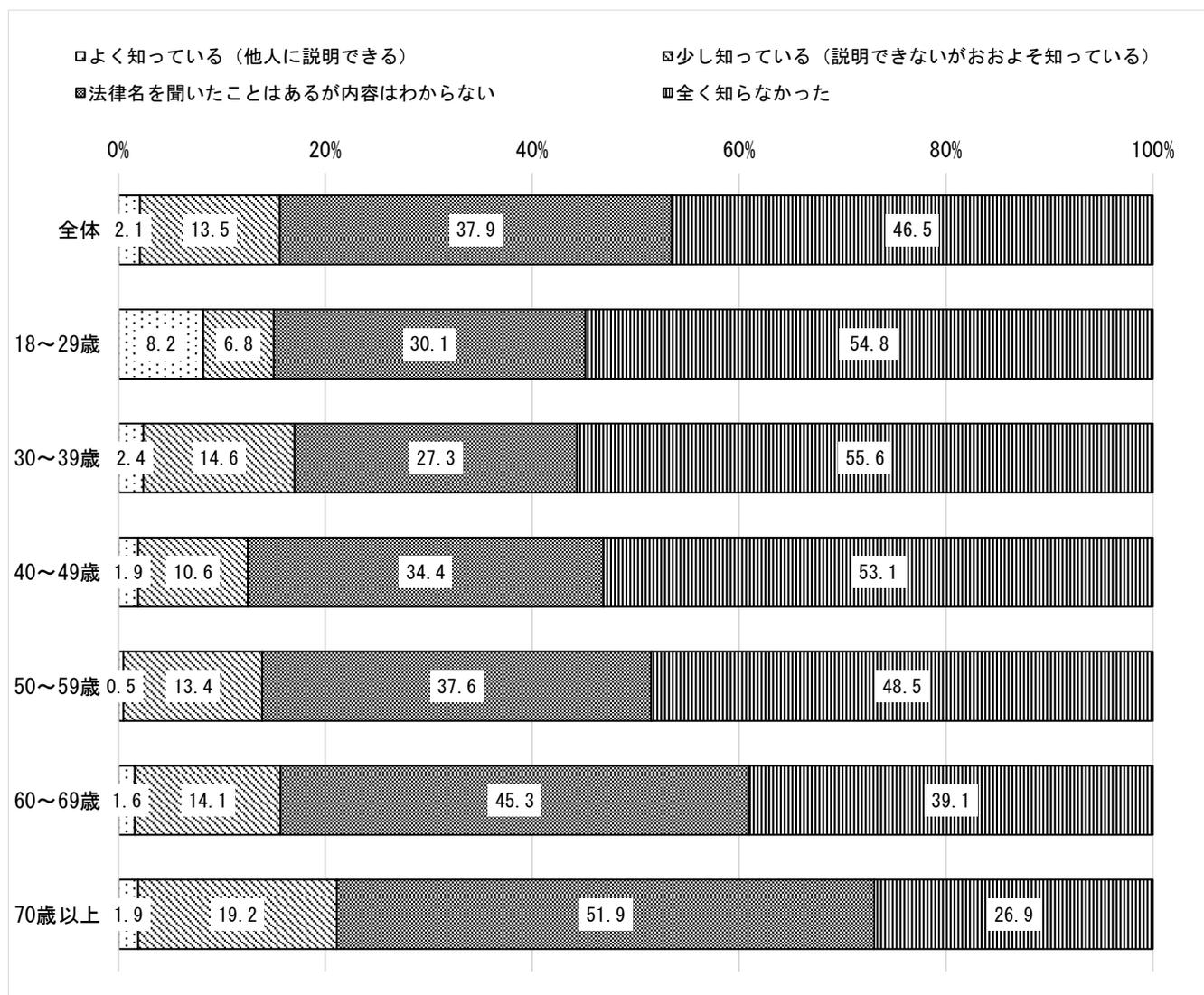
<子ども基本法の認知状況>

「子ども基本法」を全く知らないのは5割弱

問8 あなたは「子ども基本法」についてどの程度ご存知ですか。当てはまるものを選んでください。

	n=1,000	回答数 (人)	割合 (%)
よく知っている(他人に説明できる)		21	2.1
少し知っている(説明できないがおおよそ知っている)		135	13.5
法律名を聞いたことはあるが内容はわからない		379	37.9
全く知らなかった		465	46.5

●「よく知っている(他人に説明できる)」(2.1%)、「少し知っている(説明できないがおおよそ知っている)」(13.5%)を合わせると15.6%となっている。年代別では、70歳以上の認知度(21.1%)が最も高く、40～49歳が最も低い(12.5%)。



<子どもに対する日頃の態度・対応>
「どちらかといえばしている」が最も多い

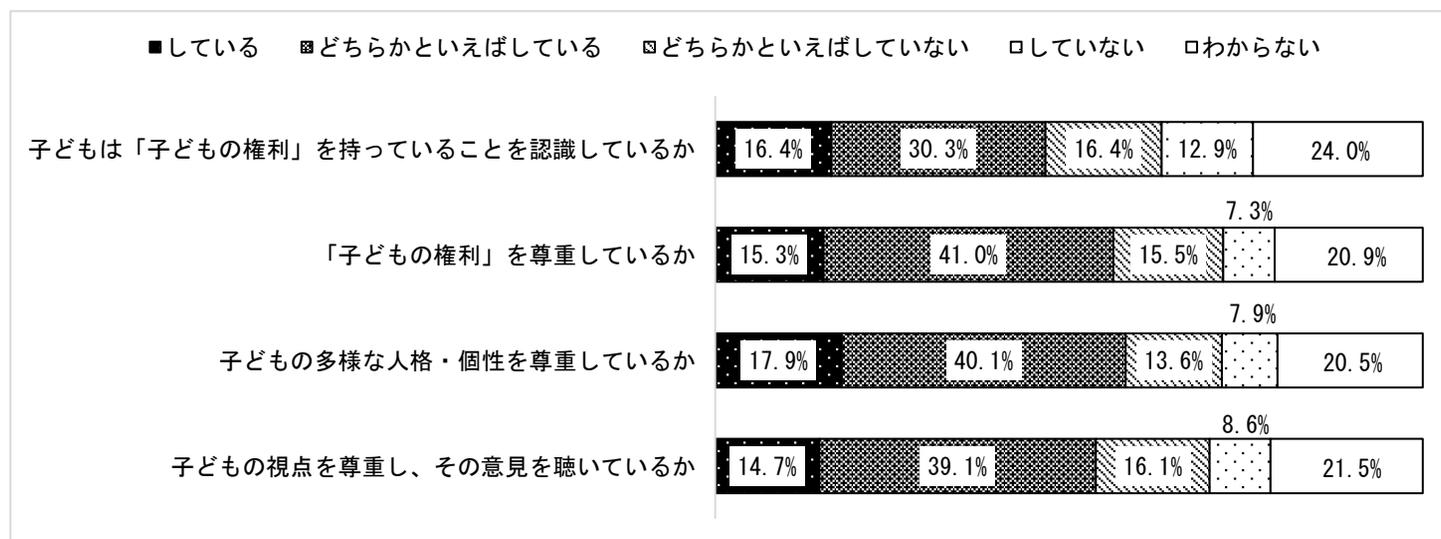
問9 子ども(18歳未満の者)に対するあなたの日頃の態度・対応について、当てはまるものを選んでください。なお、子どもと接する機会がない場合は、その状況を想定してお答えください。

	n=1,000 回答数(人) 割合(%)	している	どちらか と い え ば し て い る	どちらか と い え ば し て い な い	して い な い	わ か ら な い
			(%)	(%)	(%)	(%)
子どもは「子どもの権利(※)」を持っていることを認識しているか	164 (16.4%)	303 (30.3%)	164 (16.4%)	129 (12.9%)	240 (24.0%)	
「子どもの権利」を尊重しているか	153 (15.3%)	410 (41.0%)	155 (15.5%)	73 (7.3%)	209 (20.9%)	
子どもの多様な人格・個性を尊重しているか	179 (17.9%)	401 (40.1%)	136 (13.6%)	79 (7.9%)	205 (20.5%)	
子どもの視点を尊重し、その意見を聴いているか	147 (14.7%)	391 (39.1%)	161 (16.1%)	86 (8.6%)	215 (21.5%)	

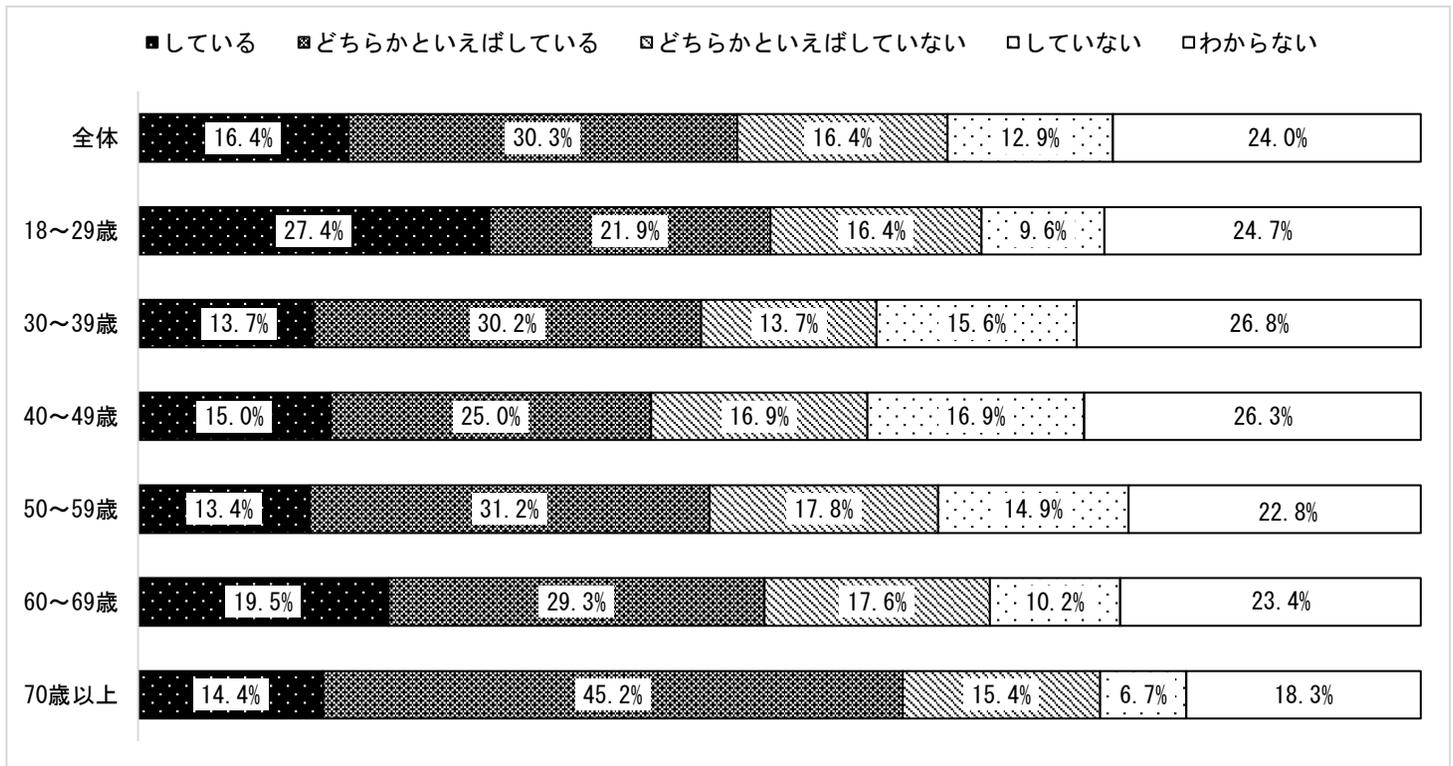
※子どもの権利:①生きる権利、②育つ権利、③守られる権利、④参加する権利の4種類

●「子どもは『子どもの権利』を持っていることを認識しているか」は、「している」「どちらかといえばしている」の合計が5割弱となっている。

●「『子どもの権利』を尊重しているか」は、「している」「どちらかといえばしている」の合計が6割弱となっている。



●「子どもは『子どもの権利』を持っていることを認識しているか」の年代別では、「している」「どちらかといえばしている」の合計は70歳以上が最も高く約6割、40～49歳が最も低く4割。



《男女共同参画に関する意識について》

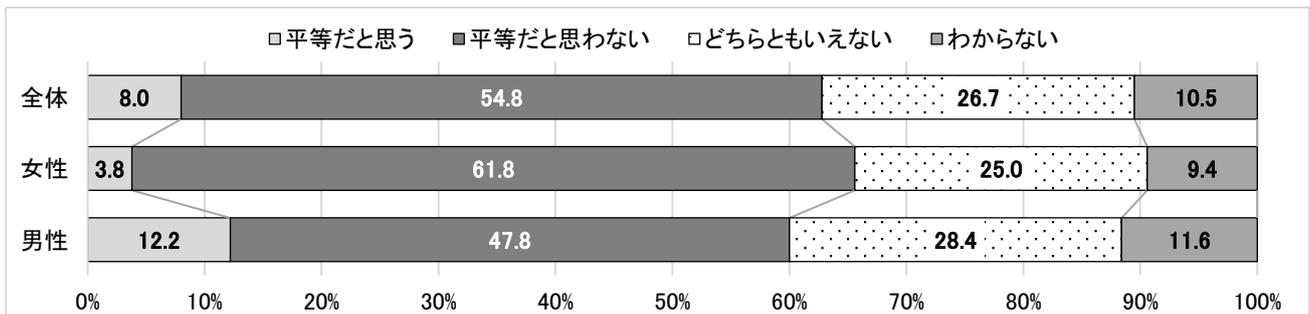
＜男女共同参画に関する意識の状況＞
「平等だと思わない」が5割超

問10 あなたは、社会全体を見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。
当てはまるものを選んでください。

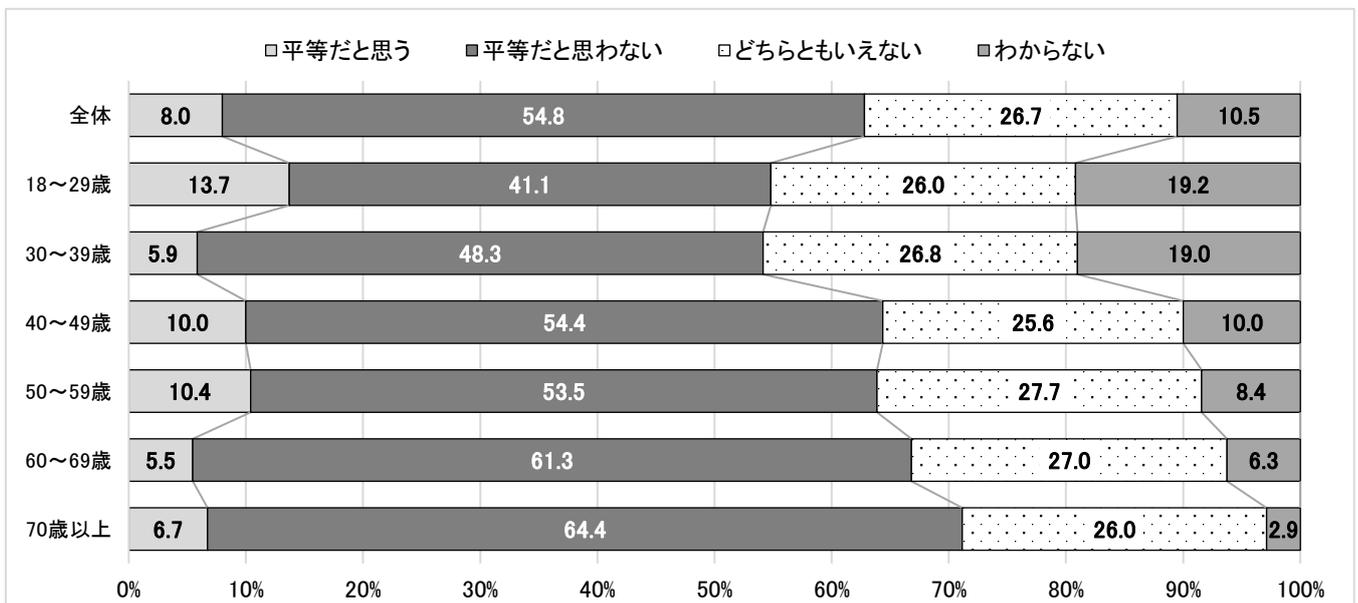
	回答数 (人)	割合 (%)
平等だと思う	80	8.0
平等だと思わない	548	54.8
どちらともいえない	267	26.7
わからない	105	10.5

n=1,000

- 「平等だと思う」の割合は8.0%で、「平等だと思わない」の割合が54.8%。
- 男女別では、「平等だと思う」の割合は女性（3.8%）と男性（12.2%）で8.4ポイント、「平等だと思わない」の割合は女性（61.8%）と男性（47.8%）で14.0ポイントの差となっている。



- 年代別では、「平等だと思わない」の割合が最も高いのは70歳以上（64.4%）、次いで60～69歳（61.3%）であり、「平等だと思う」の割合が最も高いのは18～29歳（13.7%）となっている。



＜固定的性別役割分担意識の状況＞
「反対」と「どちらかといえば反対」が合わせて6割弱

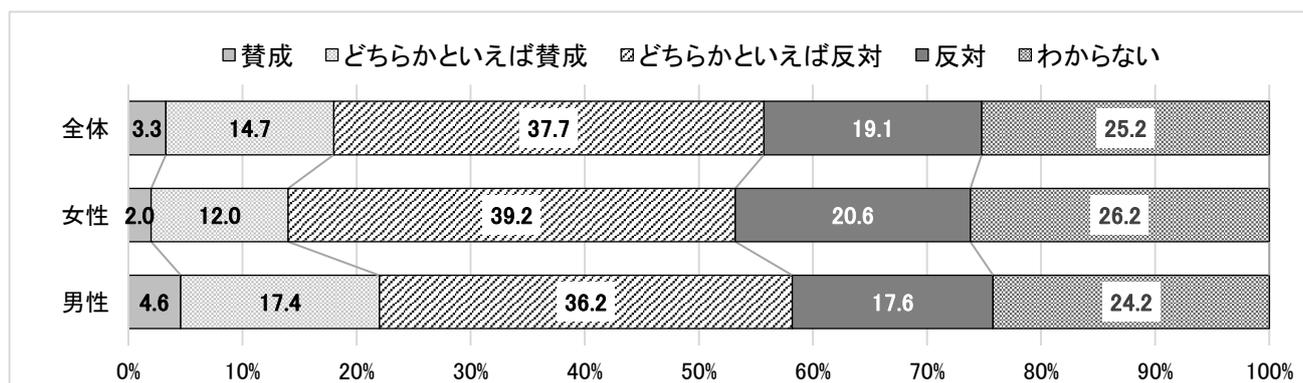
問11 あなたは、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。
当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1,000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
賛成	33	3.3	35	3.5
どちらかといえば賛成	147	14.7	127	12.7
どちらかといえば反対	377	37.7	325	32.5
反対	191	19.1	327	32.7
わからない	252	25.2	186	18.6

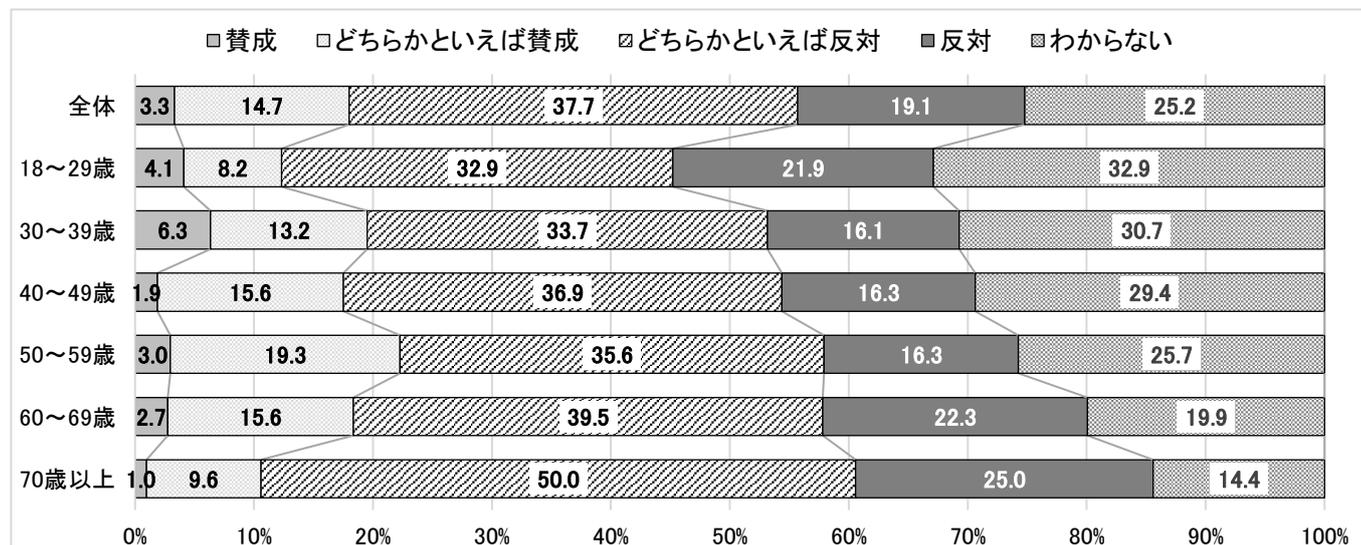
※今回の調査では、前回の同一趣旨の設問にあった、「男は仕事、女は家庭」という例示部分を削除した。

●「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせた割合は56.8%となっている。

●男女別では、「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせた割合は女性（59.8%）と男性（53.8%）で6.0ポイントの差となっている。



●年代別では、「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合が最も高いのは50～59歳（22.3%）で、「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせた割合が最も高いのは70歳以上（75.0%）、次いで60～69歳（61.8%）となっている。

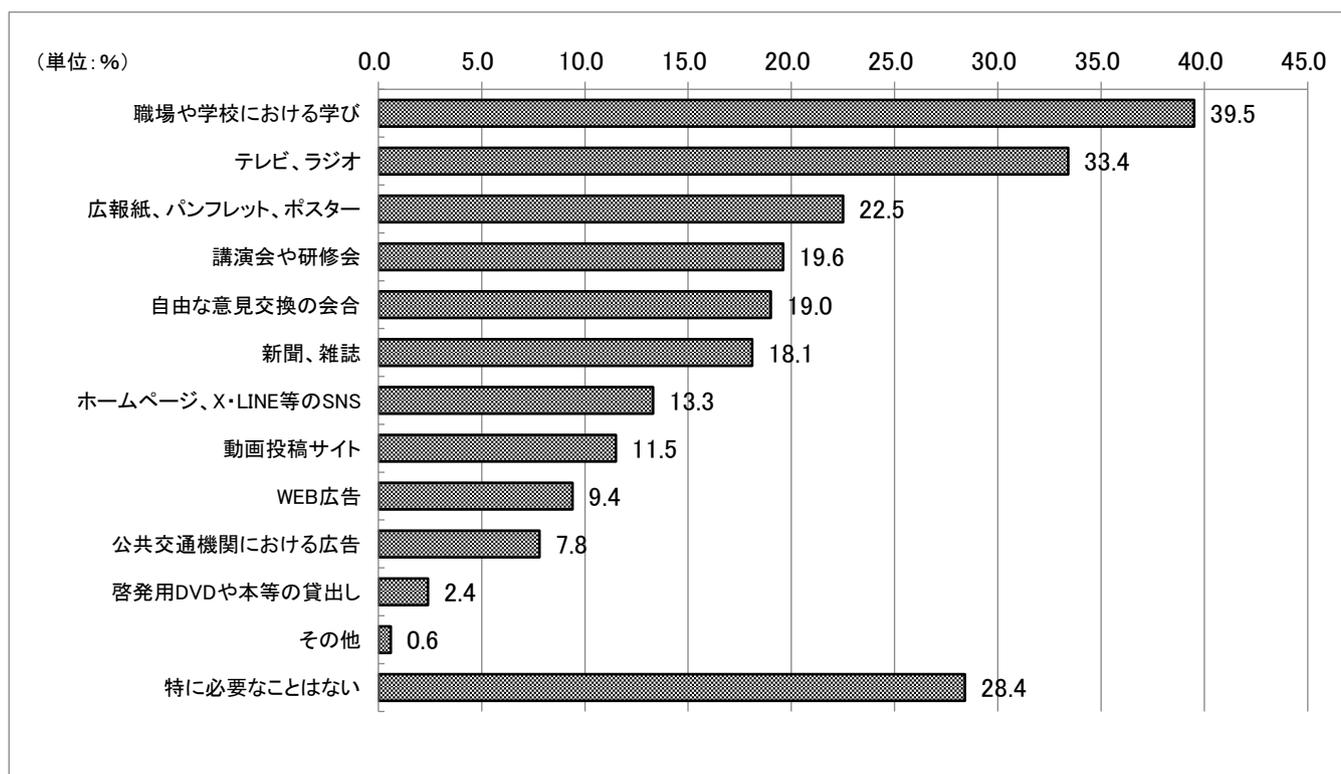


＜男女共同参画に関する効果的な啓発方法＞
 「職場や学校における学び」が約4割、「テレビ、ラジオ」が3割超

あなたは、性別によって役割を固定する考え方の解消など男女共同参画に関する啓発に当たり、
 問12 どのような啓発広報活動を行うことが効果的だと思いますか。
 当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	n=1,000	回答数 (人)	割合 (%)
職場や学校における学び		395	39.5
テレビ、ラジオ		334	33.4
広報紙、パンフレット、ポスター		225	22.5
講演会や研修会		196	19.6
自由な意見交換の会合(ワークショップ(専門家を交えた少人数の意見交換・討論)、交流会など)		190	19.0
新聞、雑誌		181	18.1
ホームページ、X(旧Twitter)・LINE等のSNS		133	13.3
動画投稿サイト(YouTube等)		115	11.5
WEB広告		94	9.4
公共交通機関における広告(電車やバス等の車内広告、駅での広告)		78	7.8
啓発用DVDや本等の貸出し		24	2.4
その他		6	0.6
特に必要なことはない		284	28.4

●「職場や学校における学び」が39.5%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」(33.4%)、「広報紙、パンフレット、ポスター」(22.5%)と続いている。



その他としては、「町内会における学び」等の回答があった。

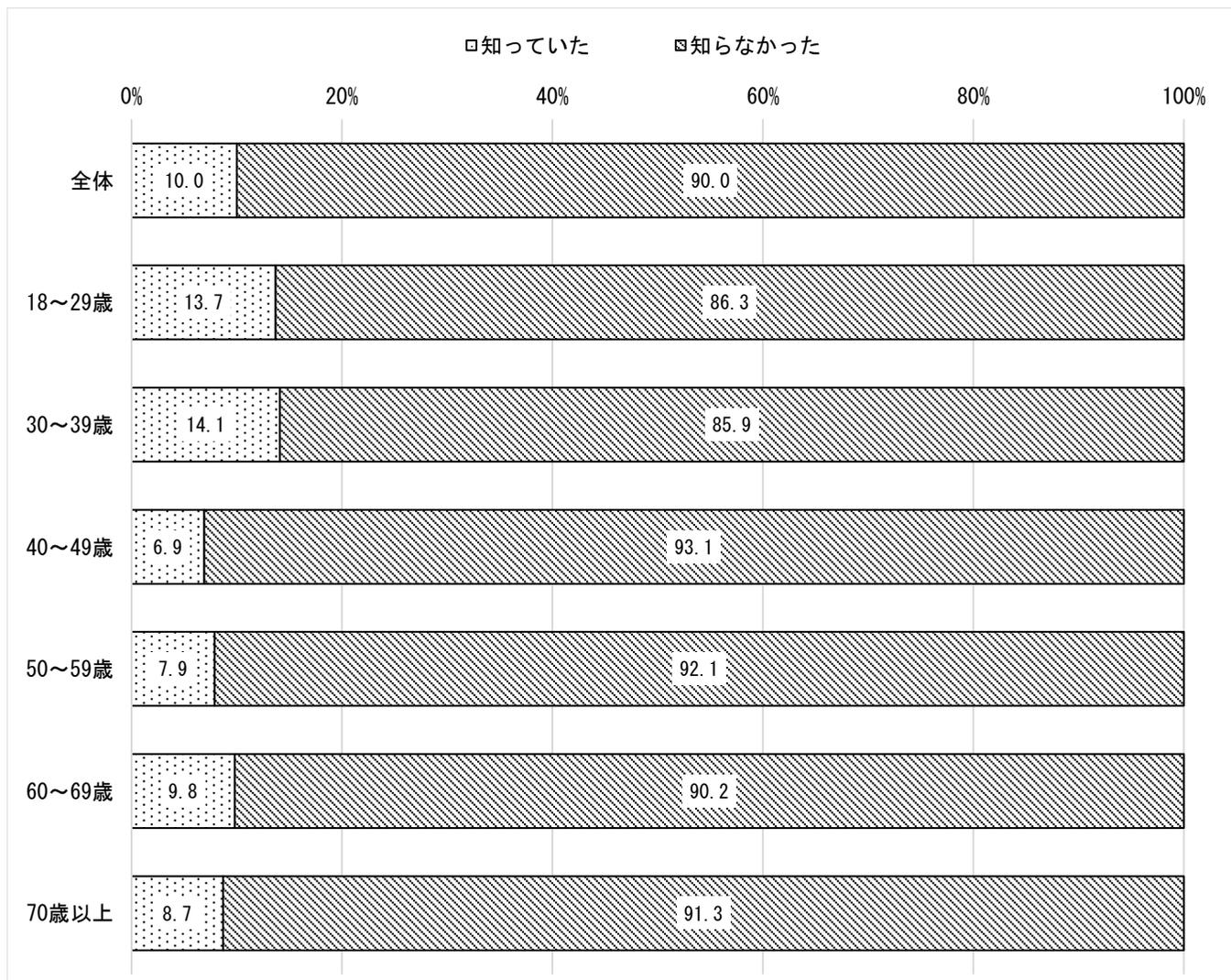
《沖縄県との交流連携について》

＜沖縄県との交流連携協定の認知度＞
「知っていた」が全体の1割

問13 あなたは、長野県と沖縄県が交流連携協定を締結していることをご存知でしたか。
当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考) 前回 R6.1月調査 n=1,000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
知っていた	100	10.0	141	14.1
知らなかった	900	90.0	859	85.9

● 「知っていた」が全体の1割となっている。年代別では、全年代において「知っていた」が2割未満となっている。

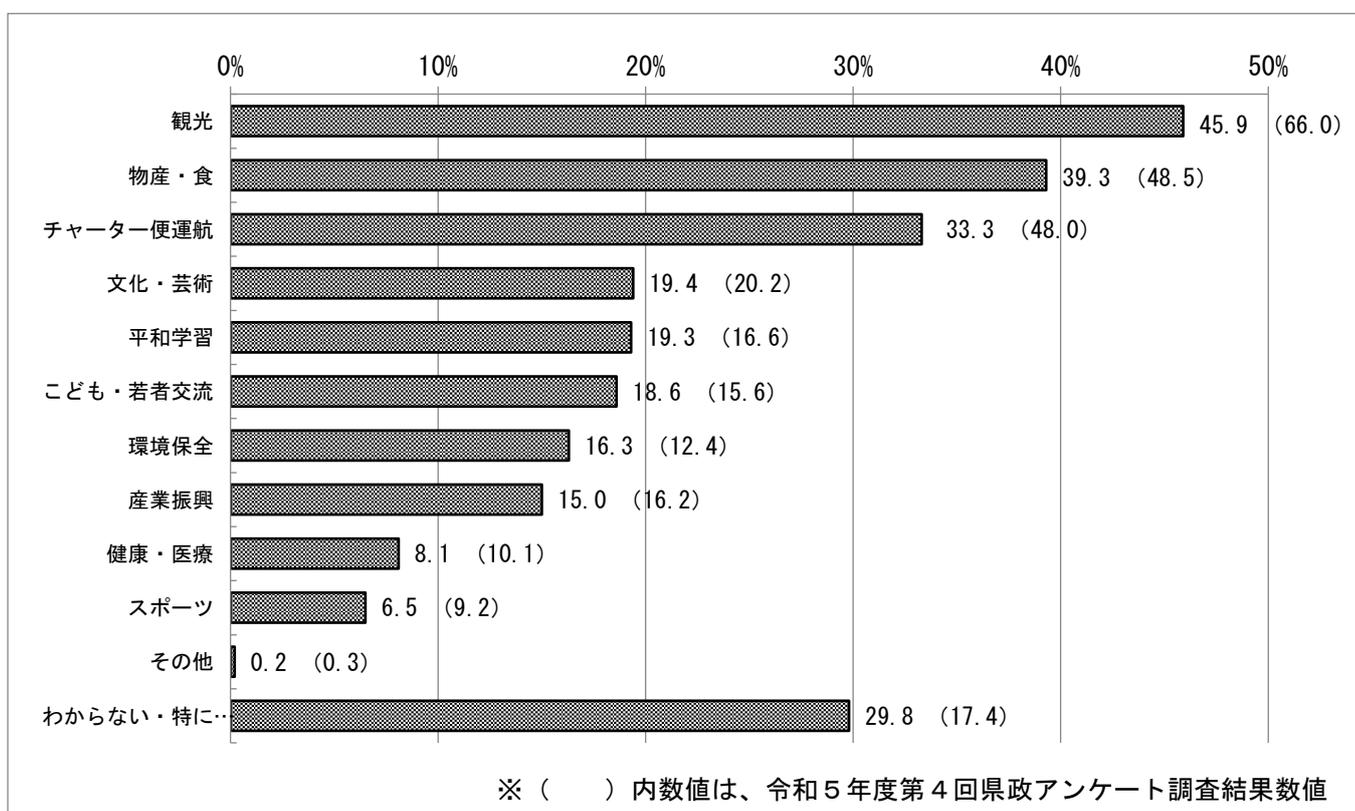


＜沖縄県との交流連携に期待する分野＞
 「観光」が4割超、「物産・食」が約4割、「チャーター便運航」が3割超

問14 あなたが、長野県と沖縄県の交流連携に期待する分野は何ですか。
 当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1,000		(参考) 前回 R6.1月調査 n=1,000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
観光	459	45.9	660	66.0
物産・食	393	39.3	485	48.5
チャーター便運航	333	33.3	480	48.0
文化・芸術	194	19.4	202	20.2
平和学習	193	19.3	166	16.6
こども・若者交流	186	18.6	156	15.6
環境保全	163	16.3	124	12.4
産業振興	150	15.0	162	16.2
健康・医療	81	8.1	101	10.1
スポーツ	65	6.5	92	9.2
その他	2	0.2	3	0.3
わからない・特になし	298	29.8	174	17.4

●「観光」が45.9%と最も高く、次に「物産・食」(39.3%)、「チャーター便運航」(33.3%)と続いている。



＜沖縄県との交流連携へのご意見＞

問15 長野県と沖縄県の交流連携に具体的に期待することやご意見等あればご自由にお書きください。

	n=1,000	回答数 (人)	割合 (%)
意見数		405	40.5

主な回答は以下のとおり（一部抜粋）

- 交流連携への期待に関するご意見
 - ・海と山の文化的違いを交流によってより知ること、特に若い世代の相互交流と短期移住などで、暮らしを通じて交流できれば良いと思う。
 - ・海の沖縄と山の長野の強みを活かした相乗効果が発揮できる可能性が秘められている。
 - ・長寿県同士、連携して情報を発信し、健康年齢の更なる向上を目指してほしい。

- イベント等企画に関するご意見
 - ・認知度が低いので、もっとイベントを多くしてほしい。
 - ・観光や食以外に、双方何かしら学びになるようなイベント等の機会があればよい。
 - ・沖縄物産展を各地で開催して、近場で沖縄の特産品に触れられたらいい。

- チャーター便の就航等交通アクセスに関するご意見
 - ・気軽にお互いの県を行き来しやすくなれば、文化や歴史、産業等いろいろな理解も深まると思う。
 - ・チャーター便の就航など、両県が手軽に行き来できるようになれば、地域活性化すると思う。
 - ・飛行機一本で沖縄に行ったり、長野に来てもらったりできるようになれば交流もしやすくなる。

- 情報発信・その他に関するご意見
 - ・文化や気候がかなり違うので、お互いの利点、問題点など具体的に知ってお互い学ぶことができたらと思う。
 - ・今回初めて知りましたが、何をどうやって進め、最終的には何を目標しているのか明確に知りたい。
 - ・沖縄県よりも交流連携すべき都道府県があるのではないのでしょうか。

《運動・スポーツに関する実感について》

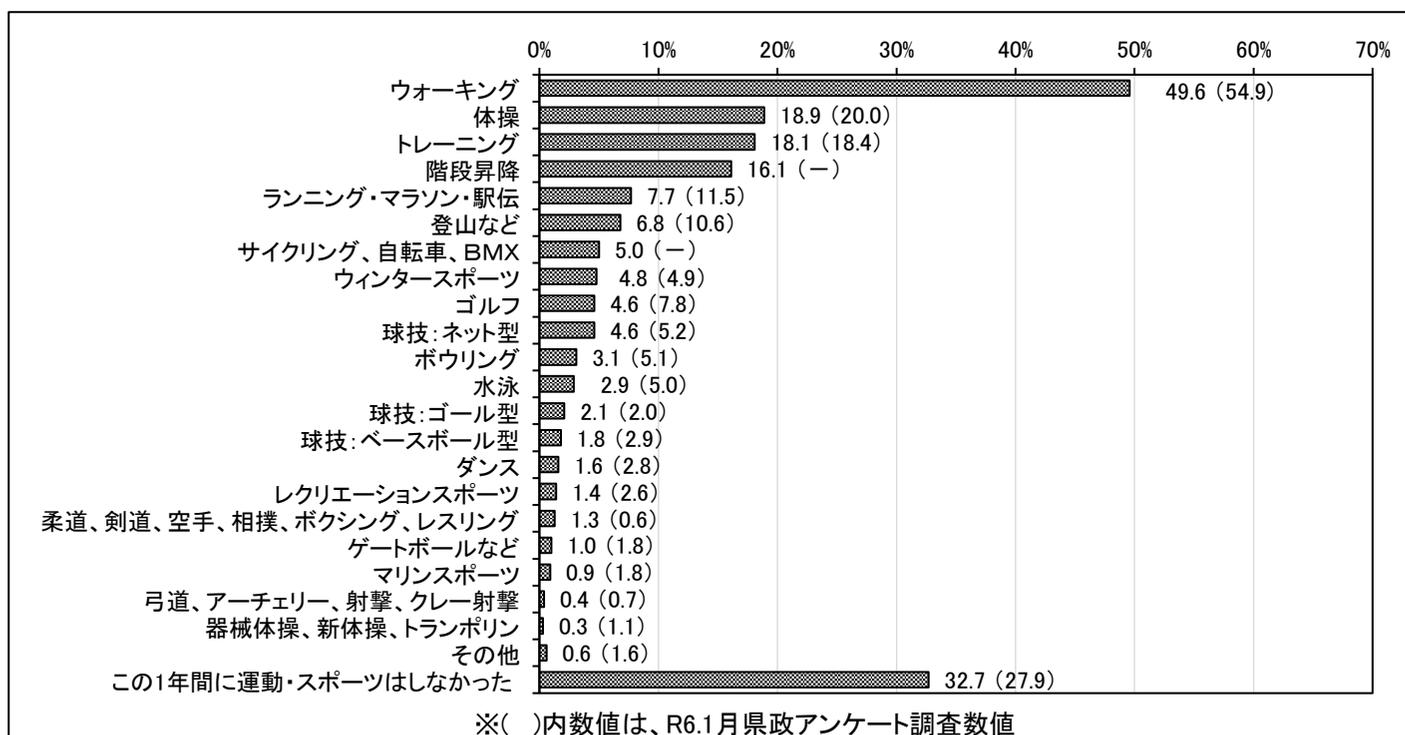
＜この1年間に行った運動・スポーツの種類＞

「ウォーキング」が約5割、「体操」「トレーニング」が約2割、「階段昇降」が2割弱

以下の中であなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)
問16 つでも
(学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。)

	今回調査 n=1000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1000	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	496	49.6	549	54.9
体操(ラジオ体操・ヨガ・太極拳・ご当地オリジナル体操・職場体操・美容体操・エアロビクス・縄跳びなど)	189	18.9	200	20.0
トレーニング(筋力トレーニング、トレッドミル、室内運動器具を使ってする運動など)	181	18.1	184	18.4
階段昇降(自宅や外出先等でエレベーターやエスカレーターを使用せず階段で昇り降り)	161	16.1	—	—
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	77	7.7	115	11.5
登山、トレッキング、トレイルランニング、ロッククライミング、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル	68	6.8	106	10.6
サイクリング、自転車、BMX	50	5.0	—	—
ウィンタースポーツ(スキー・スノーボード・スケート・アイスホッケー・カーリングなど)	48	4.8	49	4.9
ゴルフ(コース・練習場・シミュレーションゴルフ)	46	4.6	78	7.8
球技:ネット型(バレーボール・テニス・ソフトテニス・バドミントン・卓球など)	46	4.6	52	5.2
ボウリング	31	3.1	51	5.1
水泳(競泳・水球・飛込・アーティスティックスイミング、アクアエクササイズなど)	29	2.9	50	5.0
球技:ゴール型(サッカー・フットサル、バスケットボールなど)	21	2.1	20	2.0
球技:ベースボール型(野球(硬式・軟式)・ソフトボール(キャッチボールなど含む))	18	1.8	29	2.9
ダンス(ブレイキン・フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンスなど)	16	1.6	28	2.8
レクリエーションスポーツ(ティーボール・インディアカ・スポーツチャンバラ・ポッチャ・スポーツ吹矢・ドッジボールなど)	14	1.4	26	2.6
柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング	13	1.3	6	0.6
ゲートボール・グラウンドゴルフ・マレットゴルフ・パターゴルフ・スナッグゴルフなど	10	1.0	18	1.8
マリンスポーツ(ボート・カヌー・ヨット・水上スキー・ダイビング・サーフィン・釣りなど)	9	0.9	18	1.8
弓道、アーチェリー、射撃、クレ射撃	4	0.4	7	0.7
器械体操、新体操、トランポリン	3	0.3	11	1.1
その他	6	0.6	16	1.6
この1年間に運動・スポーツはしなかった	327	32.7	279	27.9

●「ウォーキング」が49.6%と最も高く、次いでラジオ体操などの「体操」(18.9%)、「トレーニング」(18.1%)となっており、生活リズムに合わせて身近で手軽にできる運動・スポーツの人気傾向が続いている。一方、「この1年間に運動・スポーツはしなかった」が32.7%と高い数字を示した。



その他としては、「就労自体がエクササイズ」「市のスポーツ教室」「毎日の畑の雑草取り」等の回答があった。

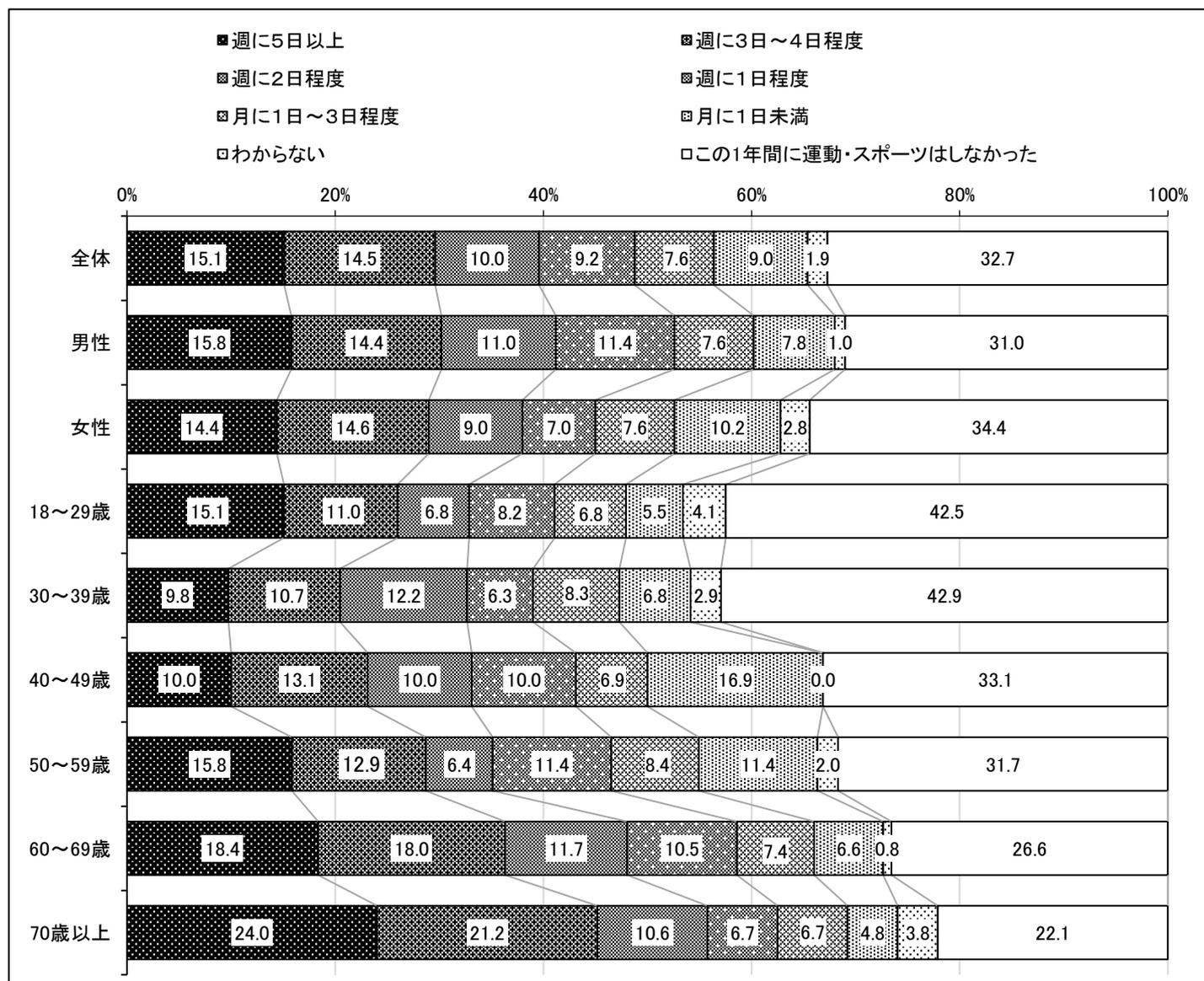
<この1年間に運動・スポーツを行った日数>
週1日以上行っている人が約5割

問17 問16であげた種目を含め、あなたはこの1年間に運動・スポーツを何日程度行いましたか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
週に5日以上	151	15.1	ほとんど毎日124	12.4
週に3日～4日程度	145	14.5	週に3～4日137	13.7
週に2日程度	100	10.0	週に1～2日200	20.0
週に1日程度	92	9.2		
月に1日～3日程度	76	7.6	月に1～3日141	14.1
月に1日未満	90	9.0	3か月に1～2日59	5.9
			年に1～3日47	4.7
わからない	19	1.9	13	1.3
この1年間に運動・スポーツはしなかった(※)	327	32.7	279	27.9

※問16で「この1年間に運動・スポーツはしなかった」を選択した人(327人)も含めて割合を算出

●週1日以上運動・スポーツを行っている人の割合(スポーツ実施率)は48.8%で、「第3次長野県スポーツ推進計画」の令和9年度目標である70%を下回った。「週1日以上のスポーツ実施率」の年齢別では、70歳以上が62.5%と最も高く、最も低い年齢層は30～39歳の39.0%であった。



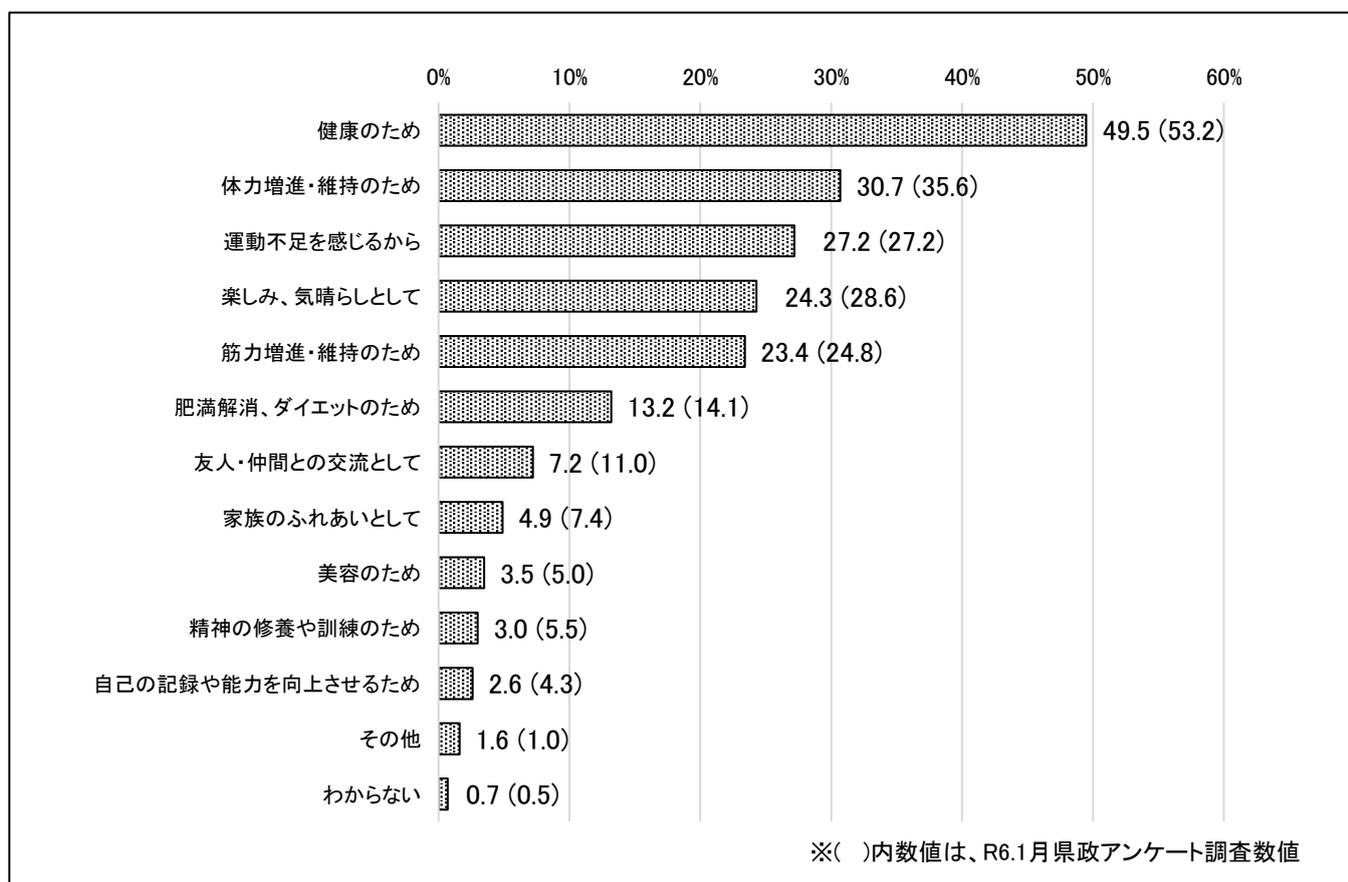
＜この1年間に運動・スポーツを実施した理由＞
「健康のため」が約5割、「体力増進・維持のため」が約3割

問18 この1年間に、あなたが運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
健康のため	495	49.5	532	53.2
体力増進・維持のため	307	30.7	356	35.6
運動不足を感じるから	272	27.2	272	27.2
楽しみ、気晴らしとして	243	24.3	286	28.6
筋力増進・維持のため	234	23.4	248	24.8
肥満解消、ダイエットのため	132	13.2	141	14.1
友人・仲間との交流として	72	7.2	110	11.0
家族のふれあいとして	49	4.9	74	7.4
美容のため	35	3.5	50	5.0
精神の修養や訓練のため	30	3.0	55	5.5
自己の記録や能力を向上させるため	26	2.6	43	4.3
その他	16	1.6	10	1.0
わからない	7	0.7	5	0.5
この1年間に運動・スポーツはしなかった(※)	327	32.7	279	27.9

※問16で「この1年間に運動・スポーツはしなかった」を選択した人(327人)も含めて割合を算出

●「健康のため」が49.5%と最も高く、次いで「体力増進・維持のため」(30.7%)、「運動不足を感じるから」(27.2%)、「楽しみ、気晴らしとして」(24.3%)、「筋力増進・維持のため」(23.4%)となっている。健康志向の理由が上位を占めている。



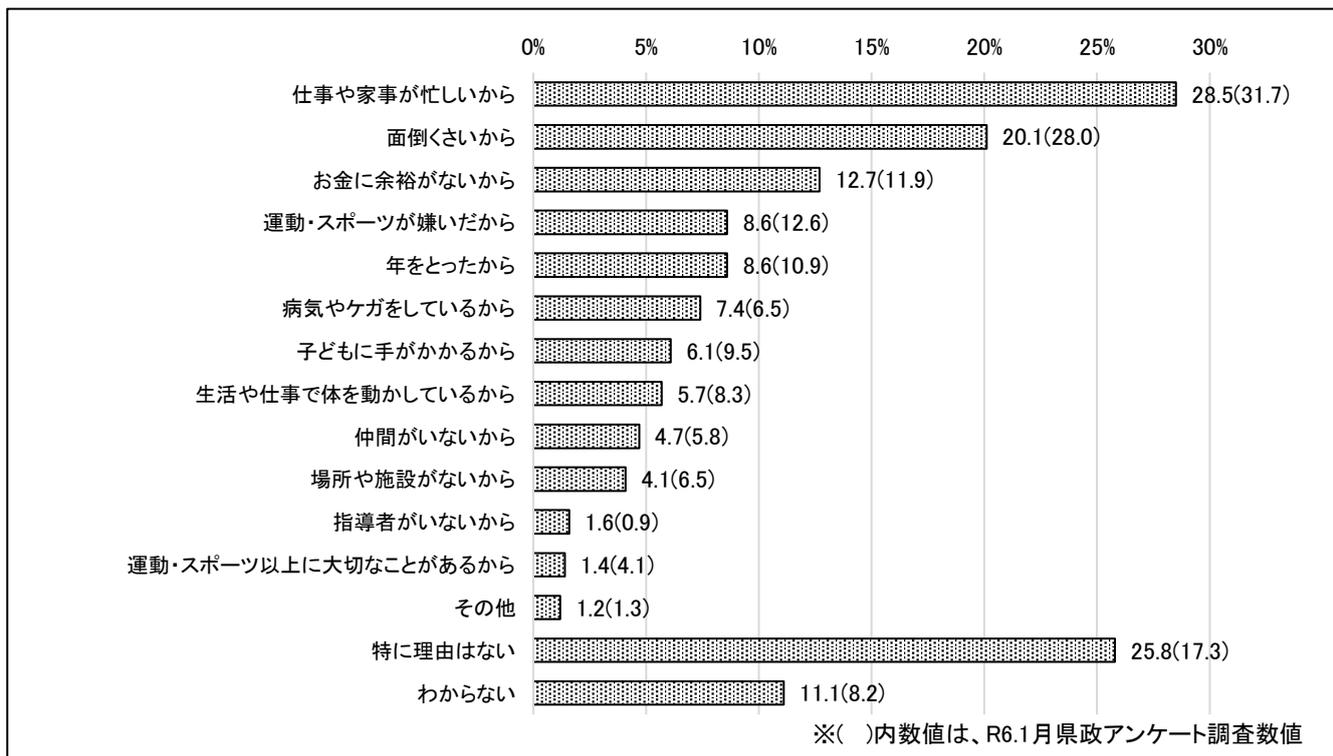
その他としては、「犬の散歩」等の回答があった。

＜運動・スポーツを週に1日以上実施しなかった理由＞
 「仕事や家事が忙しいから」が約3割、「特に理由はない」が2割超、「面倒くさいから」が約2割

問19 問16で「この1年間に運動・スポーツはしなかった」または問17で「月に1日～3日程度」「月に1日未満」「わからない」のいずれかを選ばれた方に伺います。
 週に1日以上運動・スポーツを実施しなかった理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=512		(参考)前回 R6.1月調査 n=539	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
仕事や家事が忙しいから	146	28.5	171	31.7
面倒くさいから	103	20.1	151	28.0
お金に余裕がないから	65	12.7	64	11.9
運動・スポーツが嫌いだから	44	8.6	68	12.6
年をとったから	44	8.6	59	10.9
病気やケガをしているから	38	7.4	35	6.5
子どもに手がかかるから	31	6.1	51	9.5
生活や仕事で体を動かしているから	29	5.7	45	8.3
仲間がいないから	24	4.7	31	5.8
場所や施設がないから	21	4.1	35	6.5
指導者がいないから	8	1.6	5	0.9
運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	7	1.4	22	4.1
その他	6	1.2	7	1.3
特に理由はない	132	25.8	93	17.3
わからない	57	11.1	44	8.2

●「仕事や家事が忙しいから」が28.5%と最も高く、次いで「特に理由はない」(25.8%)、「面倒くさいから」(20.1%)、「お金に余裕がないから」(12.7%)となっている。



その他としては、「何をしたらいいかわからないから」、「親の介護をしているから」等の回答があった。

＜運動・スポーツを「する」以外の関わり方＞

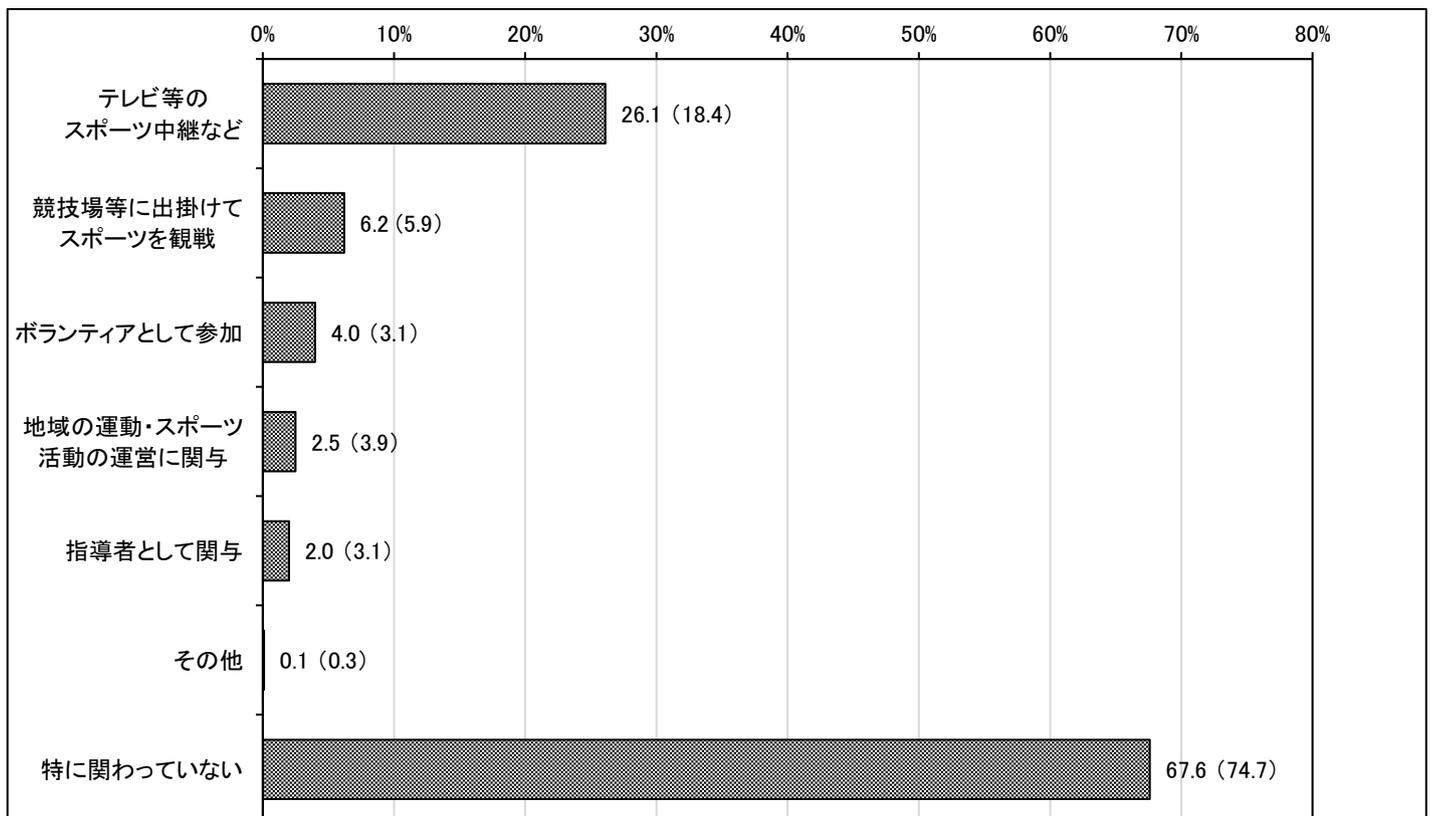
「テレビ・インターネット等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している」が3割弱、「特に関わっていない」が約7割

問20 あなたは自ら運動・スポーツをする以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をしていますか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1000	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
テレビ・インターネット等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している	261	26.1	184	18.4
競技場等に出掛けて、スポーツを観戦している (※)	62	6.2	59	5.9
各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している	40	4.0	31	3.1
地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている	25	2.5	39	3.9
指導者として関わっている	20	2.0	31	3.1
その他	1	0.1	3	0.3
特に関わっていない	676	67.6	747	74.7

※今年度調査より、「競技場等に出掛けて、スポーツを観戦している」に、広場や公園での家族・知人の観戦も含む旨記載した。

●「特に関わっていない」が67.6%と最も高く、次いで「テレビ・インターネット等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している」が26.1%、「競技場等に出掛けて、スポーツを観戦している」が6.2%となっている。



※()内数値は、R6.1月県政アンケート調査数値

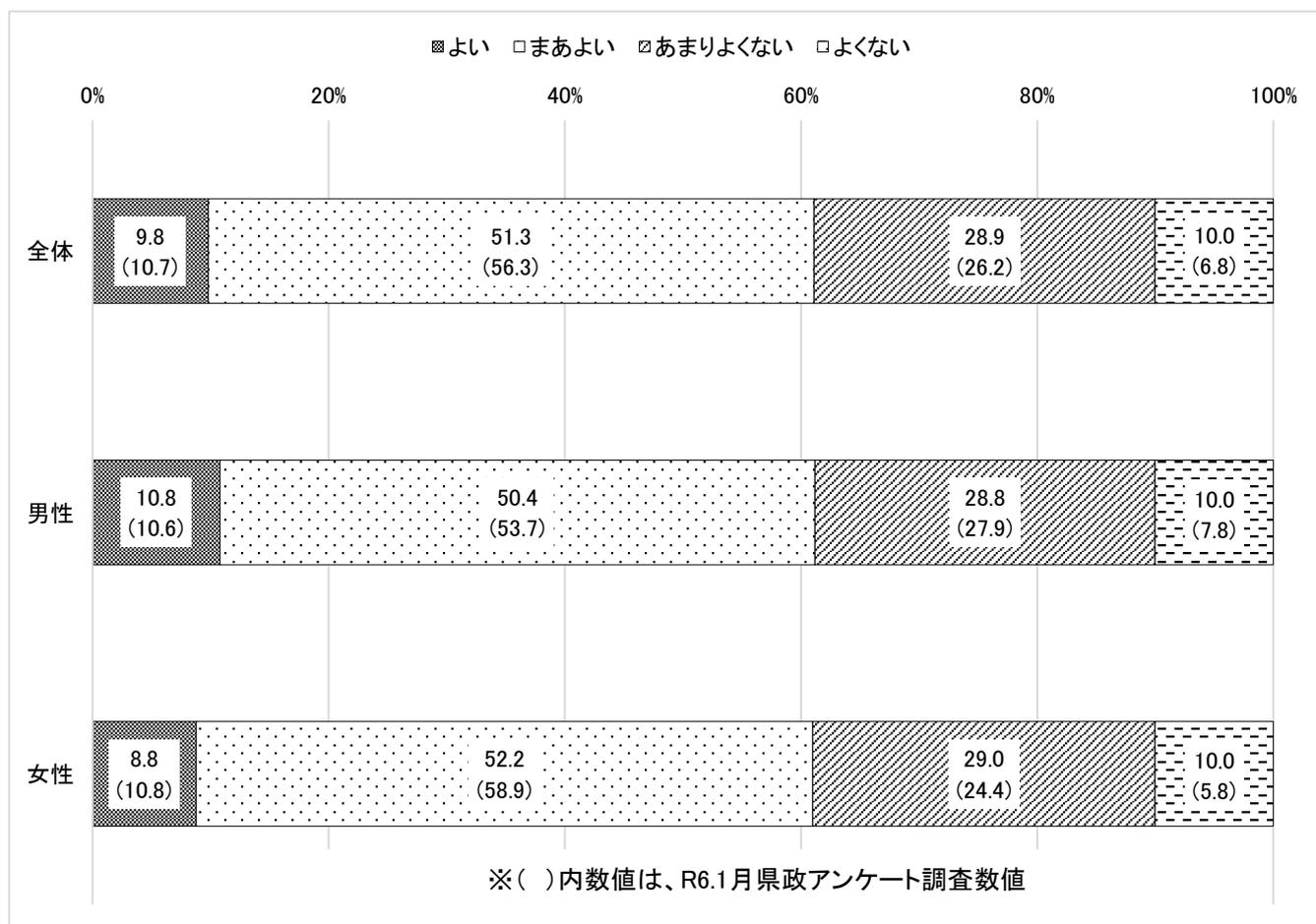
《健康づくりに関する実態について》

＜自分の健康状態をどのように感じているか＞
「よい」、「まあよい」と感じている人は、合わせて約6割

問21 あなたはご自分の健康状態をどのように感じていますか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
よい	98	9.8	107	10.7
まあよい	513	51.3	563	56.3
あまりよくない	289	28.9	262	26.2
よくない	100	10.0	68	6.8

●自分の健康状態を「よい」、「まあよい」と感じている割合の計は61.1%であり、前回調査(67.0%)より減少している。



＜健康の維持・増進に関して取り組んでいること＞
 「食生活に関すること」「飲酒に関すること」「健康診断受診に関すること」の「取り組んでいる」、「少し取り組んでいる」を合わせた割合は6割以上

問22 あなたは、現在(または過去1年間)、次の中で取り組んでいることがありますか。下記項目のそれぞれについて、該当するものを選んでください。

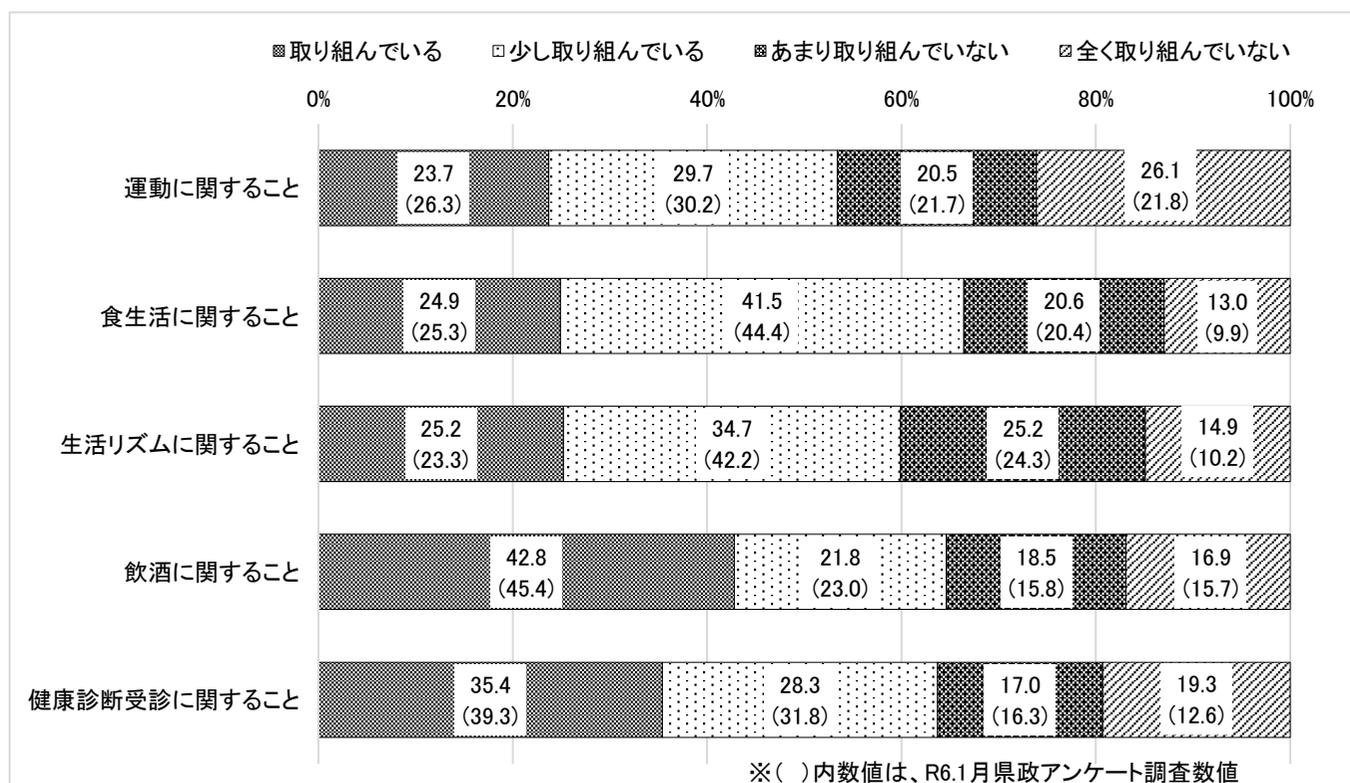
n=1000	回答数(人)				割合(%)			
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
運動(体を動かす)に関すること	237	297	205	261	23.7	29.7	20.5	26.1
食生活に関すること	249	415	206	130	24.9	41.5	20.6	13.0
生活リズムに関すること	252	347	252	149	25.2	34.7	25.2	14.9
飲酒に関すること※	428	218	185	169	42.8	21.8	18.5	16.9
健康診断受診に関すること	354	283	170	193	35.4	28.3	17.0	19.3

※飲酒できない、しない方は「取り組んでいる」を選択してくださいと記載

(参考) 前回R6.1月調査

n=1000 (※飲酒に関することはn=998)	回答数(人)				割合(%)			
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
運動に関すること	263	302	217	218	26.3	30.2	21.7	21.8
食生活に関すること	253	444	204	99	25.3	44.4	20.4	9.9
生活リズムに関すること	233	422	243	102	23.3	42.2	24.3	10.2
飲酒に関すること(※)	453	230	158	157	45.4	23.0	15.8	15.7
健康診断受診に関すること	393	318	163	126	39.3	31.8	16.3	12.6

●「運動」「食生活」「生活リズム」「飲酒」「健康診断受診」に関することについて「取り組んでいる」「少し取り組んでいる」の計は、それぞれ53.4%、66.4%、59.9%、64.6%、63.7%で、割合が最も高かったのは「食生活」に関すること(7割弱)で、次いで「飲酒」、「健康診断受診」に関すること(6割超)となっている。

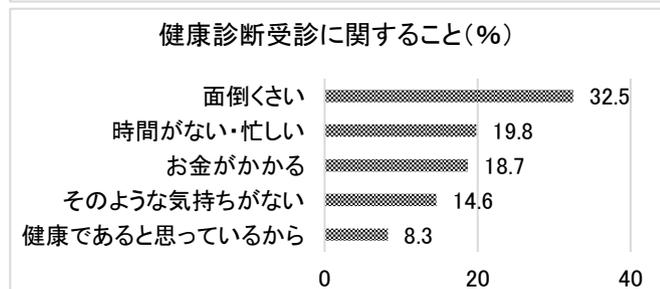
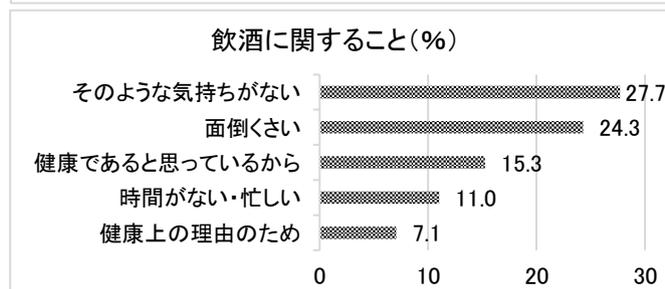
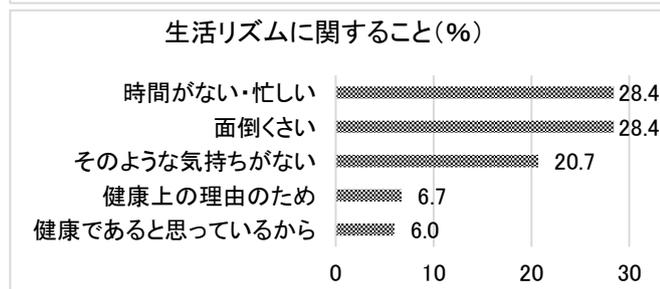
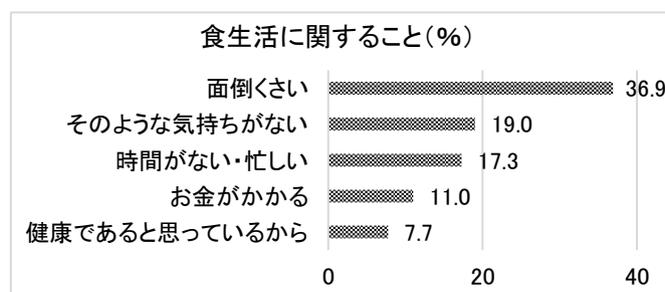
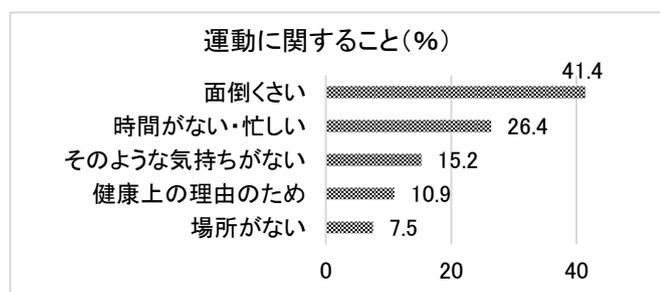


＜健康の維持や増進に関することに取り組まない理由＞
 「面倒くさい」は運動に関することで約4割、食生活に関することで4割弱

問23 問22で「あまり取り組んでいない」または「全く取り組んでいない」を選んだ項目について、その理由を選んでください。(いくつでも)

	運動に関すること n=466		食生活に関すること n=336		生活リズムに関すること n=401		飲酒に関すること n=354		健康診断受診に関すること n=363	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
健康上の理由のため	51	10.9	22	6.5	27	6.7	25	7.1	24	6.6
時間がない・忙しい	123	26.4	58	17.3	114	28.4	39	11.0	72	19.8
場所がない	35	7.5	16	4.8	21	5.2	20	5.6	23	6.3
面倒くさい	193	41.4	124	36.9	114	28.4	86	24.3	118	32.5
仲間がいない	29	6.2	11	3.3	15	3.7	13	3.7	15	4.1
お金がかかる	33	7.1	37	11.0	11	2.7	18	5.1	68	18.7
そのような気持ちがない	71	15.2	64	19.0	83	20.7	98	27.7	53	14.6
感染症が心配なため	7	1.5	3	0.9	5	1.2	3	0.8	8	2.2
健康であると思っているから	18	3.9	26	7.7	24	6.0	54	15.3	30	8.3
その他	9	1.9	9	2.7	9	2.2	16	4.5	10	2.8

●「運動」「食生活」「健康診断受診」に関することについて、「面倒くさい」が41.4%、36.9%、32.5%と最も多くなっている。



＜健康づくりを進める上で必要な環境づくり＞
「ウォーキングコースや歩道の整備」が3割超

問24 あなたは、ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ウォーキングコースや歩道の整備	336	33.6	394	39.4
塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実	159	15.9	168	16.8
家庭における健康づくりに関する取組の支援	154	15.4	151	15.1
スポーツジム、プール等運動施設の充実	148	14.8	251	25.1
健康に配慮した弁当や総菜等を販売する店舗の充実	137	13.7	155	15.5
飲食店における分煙・禁煙の徹底	134	13.4	146	14.6
新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実	126	12.6	109	10.9
健康に配慮したメニューを提供する飲食店の充実	120	12.0	153	15.3
健康づくりに関するイベントの開催	110	11.0	172	17.2
インターネットやSNSからの健康づくりに関する情報の充実	103	10.3	144	14.4
職場における健康づくりに関する取組の充実	80	8.0	134	13.4
その他	14	1.4	13	1.3
特になし	337	33.7	255	25.5

●「ウォーキングコースや歩道の整備」が、33.6%と最も高く、次に「塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実」(15.9%)が続いている。

